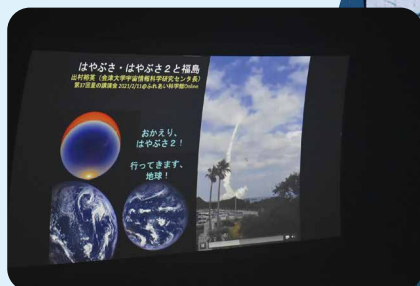


郡山市ふれあい科学館年報

— 令和2年度版 —



星の講演会
「はやぶさ・はやぶさ2と福島」
オンライン開催



スペースパーク企画展
「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」



スペースパーク企画展
「ワールドオブサイエンス&サウンド」



スペースパーク企画展
「ロボットフェスティバル」



鉄道の日「鉄道フェスティバル」



サイエンススクール「風船で大実験」

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに		(2) 天文学術会議調査……………	57
Ⅰ 施設のあらまし		(3) 展先協議会等調査……………	57
1 設置目的……………	1	(4) 展示最新情報調査……………	58
2 運営方針……………	2	(5) 会津大学宇宙情報科学研究センターとの共同研究 ……	58
3 施設概要……………	3	(6) 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞…	58
4 組織概要……………	5	10 その他	
5 歴代館長……………	6	(1) 運営協力……………	59
6 沿 革……………	6	(2) ボランティア活動の推進 ……	60
Ⅱ 令和2年度事業活動実績		Ⅲ 令和2年度広報・営業活動	
1 宇宙劇場運営		1 広報PR活動	
(1) プラネタリウム番組投映 ……	18	(1) 広報戦略活動……………	64
(2) 音楽コンサート……………	23	(2) 広報紙の配布 ……	65
(3) 全国プラネタリウム大会 ……	24	2 営業活動……………	65
2 展示ゾーン運営		Ⅳ 令和3年度事業活動計画	
(1) 体験型展示物の運転……………	26	1 宇宙劇場運営……………	67
(2) 常設展示物の活用 ……	26	2 展示ゾーン運営 ……	72
(3) 科学普及事業……………	28	3 展望ロビー利活用事業 ……	74
3 展望ロビー利活用事業		4 展示ゾーン利活用事業 ……	75
(1) パブリックビューイング ……	32	5 教育普及活動……………	78
(2) 展望ロビーパネル展 ……	32	6 宇宙や科学に関する情報発信事業 ……	82
(3) Nゲージ鉄道ジオラマショー ……	33	7 開館20周年記念事業……………	82
(4) 展望ロビーイルミネーション…	34	8 作品募集……………	82
4 展示ゾーン利活用事業		9 出版……………	83
(1) 企画展……………	35	10 調査・研究 ……	83
(2) パソコン工房の活用 ……	38	11 その他 ……	83
(3) 学校長期休業期間の特別事業 ……	39	Ⅴ 令和3年度広報・営業活動	
(4) 団体利用向け科学教室……………	39	1 広報PR活動	
(5) 科学技術へのいざない ……	40	(1) 広報戦略活動……………	85
5 教育普及活動		(2) 広報紙の配布 ……	86
(1) 学校向け巡回展……………	41	2 営業活動……………	86
(2) 講師派遣……………	41	Ⅵ 予算・決算	
(3) 職場体験としての機会提供 ……	45	1 令和2年度決算 ……	87
(4) クラブ活動 ……	46	2 令和3年度予算 ……	88
(5) 講座・講演会 ……	47	Ⅶ 施設利用状況	
(6) 観望会……………	50	1 月別入館者数……………	89
(7) 学習支援……………	51	2 施設別入館者数……………	90
6 宇宙や科学に関する情報発信事業		3 宇宙劇場区分別入館者数……………	94
(1) 企画パネル展 ……	53	4 展示ゾーン区分別入館者数 ……	95
(2) 学術発表……………	53	5 平成27年度から令和元年度までの入館者数の変遷 ……	97
7 作品募集……………	54	6 令和2年度施設利用状況の結果分析 ……	100
8 出版		Ⅷ その他	
(1) 年報の発行……………	56	1 条例・規則 ……	103
(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行…	56	2 利用案内……………	112
9 調査・研究		3 スペースパークボランティアの会会則 ……	113
(1) 天文関連協議会調査……………	57		

はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症との闘いの一年となりました。前年度末からの感染拡大に伴い、宇宙劇場並びに展望ロビーは2月末から休館となり、国の緊急事態宣言に合わせ展示ゾーンも含めた科学館全館が4月18日から5月18日まで休館となりました。約1か月間、職員は事業の準備や施設内の感染防止対策、清掃など、自らの感染予防に努めながら今できることに全力で取り組みました。緊急事態宣言が解除され、科学館も5月19日から再開しましたが、これまでの施設運営、事業実施ではなく、コロナ禍における「新しい生活様式」に則った①マスク着用 ②3密防止 ③ソーシャルディスタンスの確保 ④手指や施設内の消毒 ⑤体温測定など、多くの制限がかかる中での再スタートとなりました。6月末までは、各種講座やイベント、クラブ活動、観望会などはすべて中止や延期としました。来館者数も6月で例年の3割程度となりました。

7月から宇宙劇場や展示ゾーンなど、入場制限、来館者カードの記入などのご協力をいただきながら各種事業を実施してまいりました。夏のドーム映像番組「新恐竜大進撃」は来館者の分散を図るため、7月18日～9月27日までの長期投映とし、定員も半分の110名としました。期間をとおして約5,000名の入場者に楽しんでいただきました。冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン」も期間を12月5日～1月31日までの長期投映にして実施しました。

夏のスペースパーク企画展は、「ピラミッド・サイエンス」の大規模イベントを予定していましたが、コロナ禍での実施の有無を検討した結果、今年度は中止をし、その代替として科学館にある電車、汽車、レールなどを用いて「電車のおもちゃで遊ぼう!」を開催しました。家族やグループだけで遊べるようにエリアを5つに分け、時間制で整理券を配布し、毎回消毒を行うなど、感染予防にも万全を期して実施しました。5月のゴールデンウィーク期間中に東京オリンピックに因んで実施予定であった「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ」は、9月の4連休に整理券による入場制限や消毒の徹底を図りながら実施しました。

冬のスペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」は、予約優先制を取り入れ実施しました。また、音に因んで22階展望ロビーでは、近隣の小中学校から応募いただいた楽器演奏動画を上映し、多くの来館者にご覧いただくことで、コロナ禍で発表の機会が制限された児童・生徒の皆さんにエールを贈らせていただきました。

今年度は、全国プラネタリウム大会や星空案内人全国シンポジウムなど、当館を会場に全国大会2つ開催予定でしたが、残念ながらいずれも来年度に延期となりました。しかし、はやぶさ2帰還に合わせ福島民報社と共同主催で行った「はやぶさ2パネル展」や会津大学出村裕英教授をお迎えしての星の講演会は、話題性もあり多くの方々にお楽しみいただきました。

コロナ禍で休館を余儀なくされ、来館できない皆様に何かできることはないかと始めた、Facebook、Instagram、YouTubeによる実験工作、天文解説などの情報発信は、コロナ禍での科学館の財産です。今後も「with コロナ」の中、どのように科学館の事業を展開していけばよいか、今年度は多くの学びの機会となりました。今後とも、皆様方の温かいご支援とご意見等をいただきながら、常に進化続ける「グローイングミュージアム」、SDGs「質の高い教育をみんなに」の視点に立って鋭意努力してまいります。より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館
館長 佐藤 宏

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

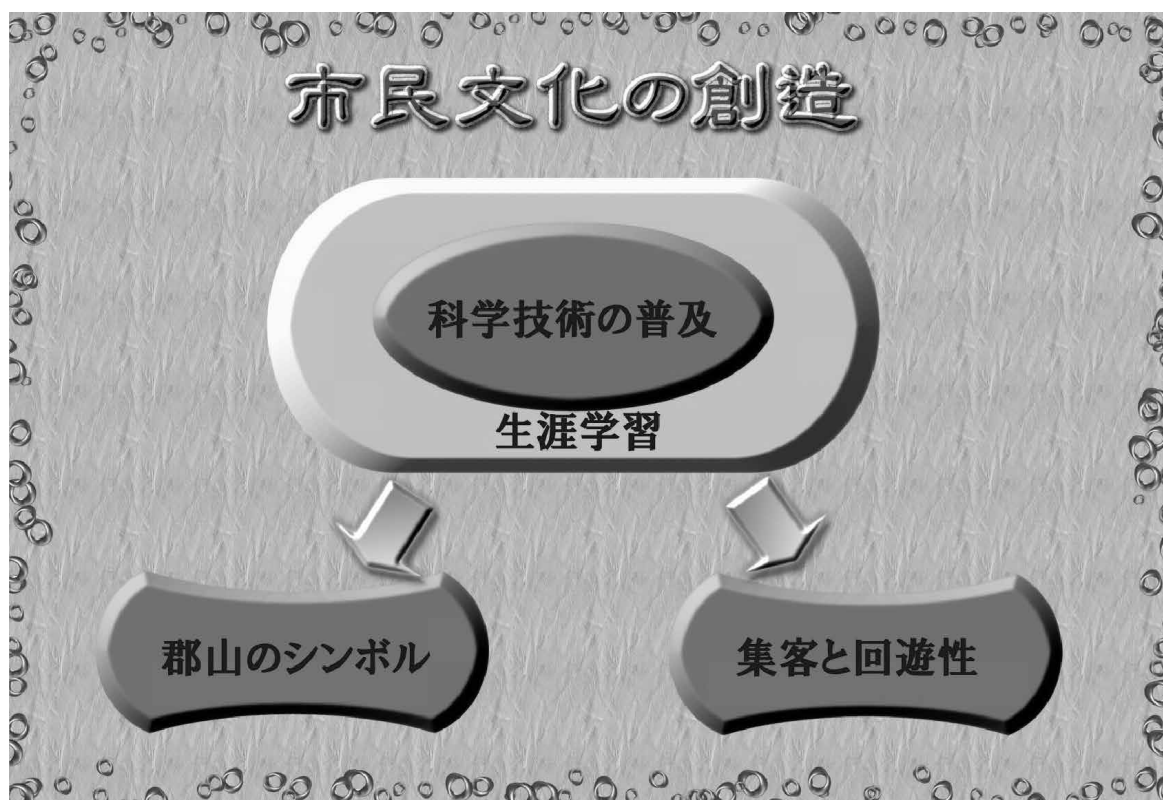
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローピング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
(ビッグアイ 20～24 階)

構造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造

※ビル全体の構造 (地上高 133 m)

面積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

郡山市ふれあい科学館 フロア案内

宇宙劇場 — 23・24F —

劇場、ホワイエ

○規模

直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席

○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー — 22F —

メインエントランス

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

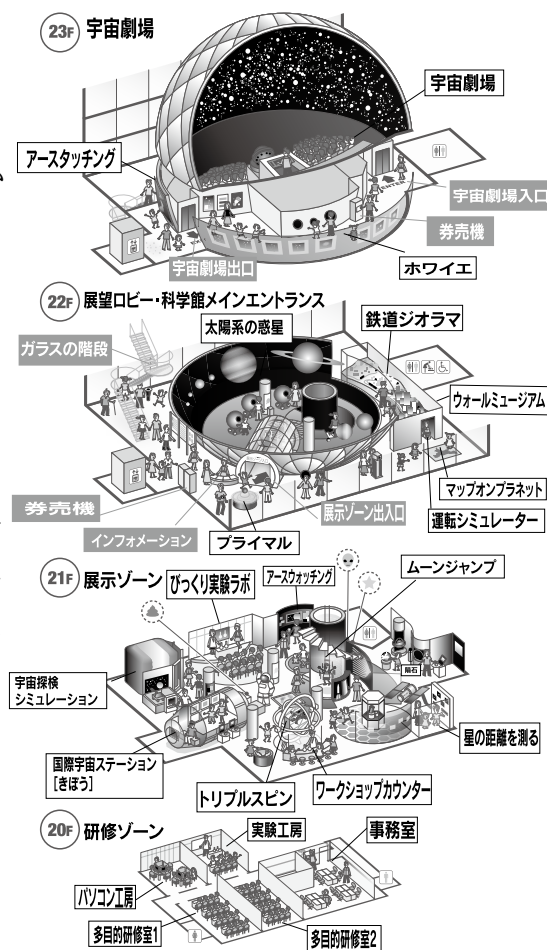
展示ゾーン — 21F —

○展示品

— プロローグ —

プロローグ「惑星」、コペルニクスのかえ

スペースパークフロアマップ



- た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

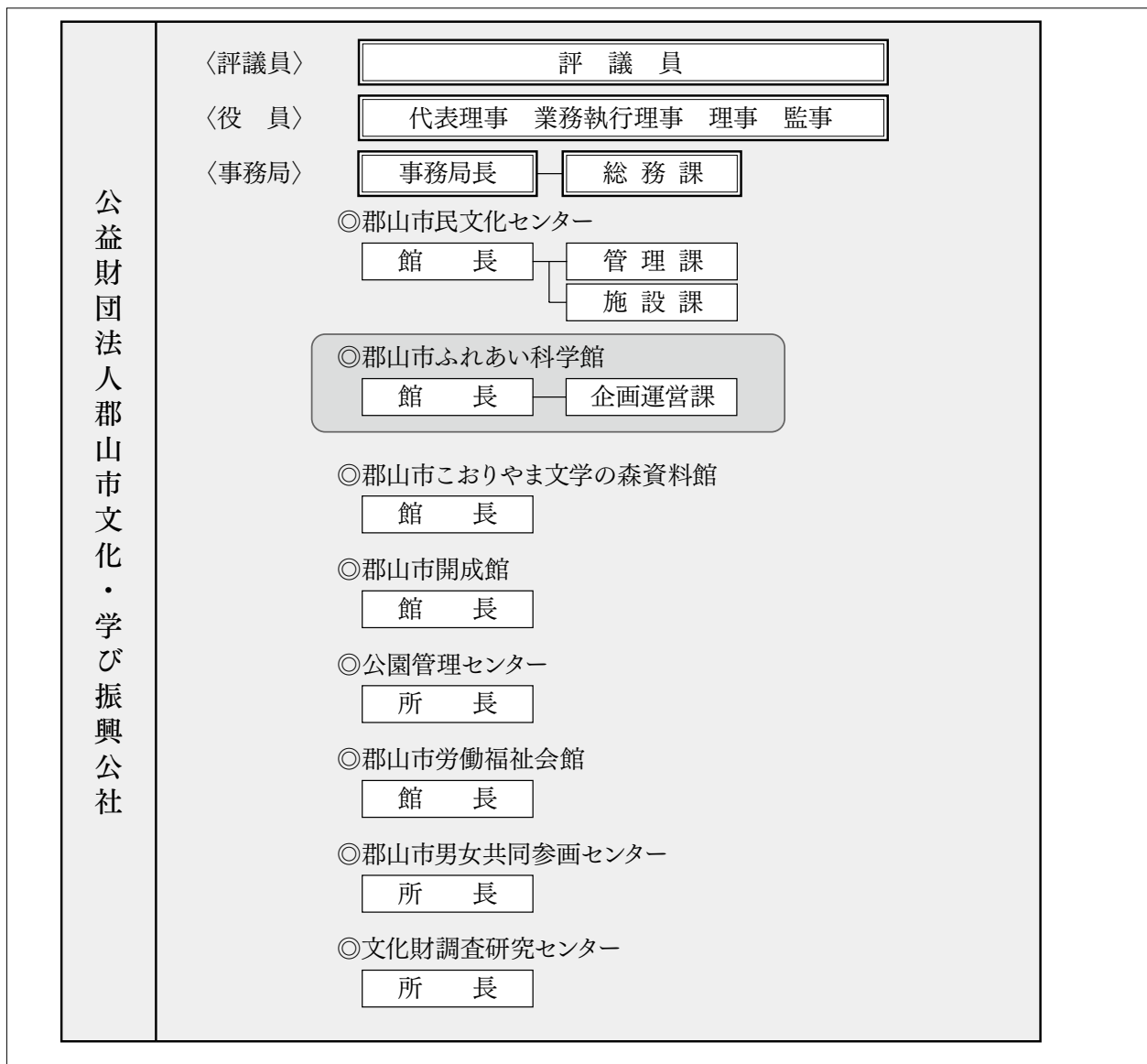
* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図〈令和2年度〉



(2) 職員配置〈令和3年3月31日現在〉

館長（嘱）（1）

－企画運営課（31）－

課長（兼）、主任主査（1）、主任（5）、主査（1）、主事（4）、常勤嘱託職員（1）、非常勤嘱託職員（1）

臨時職員（18）

合計 32 人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間政彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡崎 強	平成30年4月1日～令和3年3月31日

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

○基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

○基本実施設計策定

<平成12年3月>

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

○科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

○科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

○ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

○シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

- 22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第 1 回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

- 有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

- ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

- 開館 1 周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

- 常陸宮両殿下御視察

- 開館 1 周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

- 開館 1 周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

- 展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

<平成 15 年 4 月>

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

<平成 15 年 6 月>

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

<平成 15 年 7 月>

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

<平成 16 年 2 月>

○スペースパークボランティアの会設立

<平成 16 年 3 月>

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

<平成 16 年 5 月>

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

<平成 16 年 6 月>

○有料ゾーン入館者が50万人突破

<平成 16 年 9 月>

○高円宮妃殿下御視察

<平成 16 年 10 月>

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

<平成 16 年 11 月>

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

<平成 17 年 2 月>

○県内 5 館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

<平成 17 年 9 月>

○アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

<平成 18 年 3 月>

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催（9・10月）

<平成 18 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- 国際宇宙ステーション（ISS）の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成 18 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成 19 年 3 月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成 19 年度

<平成 19 年 7 月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成 19 年 10 月>

- 「第 5 回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成 19 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

<平成 20 年 1 月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成 20 年度

<平成 20 年 6 月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成 20 年 7 月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成 20 年 12 月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成 21 年度

<平成 21 年 4 月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

○“夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”放映開始

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成 21 年 11 月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成 21 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

<平成 22 年 11 月>

○“全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成 22 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

<平成 23 年 3 月>

○「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

○「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成 23 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成 23 年 8 月>

○“「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

○“郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成 24 年 1 月>

○「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

<平成 24 年 2 月>

○展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

○“宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成 24 年 5 月>

○郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成 24 年 6 月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成 24 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

<平成 24 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月1日から1月14日まで開催

○“冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月1日から2月24日までロングラン投映

<平成 25 年 1 月>

○全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成 25 年 2 月>

○“イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間投映

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

○“パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成 25 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を7月20日から8月25日まで投映

<平成 25 年 11 月>

○“全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月9日から12月8日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

○“冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで放映

○“スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

○“天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

<平成 26 年 3 月>

○“スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで放映

<平成 26 年 9 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

<平成 26 年 10 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで放映

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 26 年 11 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催

○JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

<平成 27 年 4 月>

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」 特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を 7 月 18 日から 8 月 24 日まで投映

<平成 27 年 9 月>

- 第 5 回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第 6 回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第 6 回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第 6 回国際科学映像祭ドームフェスタ」を 9 月 23 日から 26 日に開催
- 第 6 回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票 1 位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第 6 回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国 7 カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を 12 月 5 日から 1 月 11 日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を 12 月 5 日から 1 月 11 日まで投映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を 3 月 5 日から 31 日まで投映

▶平成 28 年度

<平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を 4 月 1 日から 5 日まで投映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」 特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を 7 月 16 日から 8 月 24 日まで投映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催

- ・開館15周年記念式典
- ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
- ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
- ・ハイスクール科学祭
- ・トリックアート展

- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、
「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

▶平成 29 年度

<平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」
「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

<平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

<平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7日から9日までアンコール投映

<平成 29 年 11 月>

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

<平成 29 年 12 月>

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン〜北の国のオーロラ〜」”を12月2日から1月8日まで放映

<平成 30 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで放映

▶平成 30 年度

<平成 30 年 4 月>

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで放映

<平成 30 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで放映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ! 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

<平成 30 年 8 月>

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

<平成 30 年 9 月>

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

<平成 30 年 10 月>

- “秋のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」”を10月6日から12月2日まで放映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出展した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

<平成 30 年 12 月>

- スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月7日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで放映

<平成 31 年 3 月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を3月1日から31日までアンコール
投映

▶平成31年度・令和元年度

<平成31年4月>

○春のドーム映像番組「星の旅 ―世界編―」を4月1日から7日までアンコール
投映

○スペースパーク企画展「フォトラボ ―映える写真はいいね―」を4月27日から
5月6日まで開催

<令和元年7月>

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」特別試写会”を開
催

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」”を7月13日から
8月25日まで投映

○スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る ―THE ホラーハウス―」を7月13日か
ら8月25日まで開催

<令和元年10月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

<令和元年12月>

○スペースパーク企画展「昭和レトロ展 ―親子であそぼう！昭和ワールド―」を
12月7日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投
映

<令和2年2月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

▶令和2年度

<令和2年4月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展示ゾーンが4月18日から休館
(全館休館)

<令和2年5月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため5月18日まで全館休館、5月19
日から全館開館

<令和2年7月>

○“ドーム映像番組「新・恐竜大進撃」”を7月18日から9月27日まで投映

○電車のおもちゃで遊ぼう！、企画パネル展「星の衝突で、何ができただ？ ―月の
うさぎと私たちの地球―」を7月18日から8月23日まで開催

<令和2年9月>

○スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」を9月19日
から22日まで開催

<令和2年10月>

○“ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を10月3日から11月29日までアンコール投映

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月10日・11日に開催

<令和2年11月>

○福島民報社との共同主催事業“はやぶさ2パネル展「小惑星探査の旅」” 11月20日から12月6日まで開催

<令和2年12月>

○スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」を12月5日から1月11日まで開催

○“ドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」”を12月5日から1月31日まで投映

<令和3年2月>

○福島県沖地震による安全確認のため、2月14日から17日まで休館

Ⅱ 令和 2 年度事業活動実績

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分	19 時(※ 1)	
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	
夏休み期間等 (※ 2)	10 時 30 分	11 時 40 分	13 時	14 時 20 分	15 時 40 分	17 時

※ 1 金曜日のみ投映

※ 2 7/17 ～ 1/31 の土曜・日曜・祝日・夏休み期間・冬休み期間

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に 2 ケ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第 3 回目及び土曜・日曜・祝日の第 2・4 回目、団体利用がない平日の第 1・2 回目、7/17 ～ 1/31 の土曜・日曜・祝日・夏休み期間・冬休み期間の第 2・5 回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
光のカーテン ーオーロラ紀行ー	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月1日(水)～30日(木)投映休止	0 回	0 人
宇宙カレンダー	令和2年5月19日(火)～6月30日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月1日(金)～17日(日)投映休止	90 回	577 人
ブラックホール	令和2年7月1日(水)～8月30日(日)	119 回	2,538 人
宇宙と生命 ー系外惑星の世界ー	令和2年9月1日(火)～10月31日(土)	99 回	1,565 人
太陽系の小さな仲間たち	令和3年11月1日(日)～12月30日(水)	110 回	1,364 人
星座ができるまで	令和3年1月2日(土)～2月28日(日)	100 回	861 人
星空 100 万年の旅	令和3年3月2日(火)～3月31日(水)	66 回	786 人

観覧者総数 7,691 人



光のカーテンーオーロラ紀行ー



宇宙カレンダー



ブラックホール



宇宙と生命ー系外惑星の世界ー



太陽系の小さな仲間たち



星座ができるまで



星空 100 万年の旅

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を放映した。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、7/17～1/31の土曜・日曜・祝日・夏休み期間・冬休み期間の第3回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
宇宙ミステリーツアー 2020	令和2年5月23日(土)～31日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月1日(水)～5月17日(日)放映休止	8回	62人
たなばたの星	令和2年6月6日(土)～7月12日(日)	24回	758人
宇宙の金・銀・銅	令和2年7月18日(土)～8月30日(日)	29回	787人
月をみよう!	令和2年9月5日(土)～11月29日(日)	30回	673人
うごかない星・うごく星	令和2年12月5日(土)～令和3年1月31日(日)	28回	271人
なないろどうわ プラネタリウム	令和3年2月6日(土)～3月31日(水)	46回	1,159人

観覧者総数 3,710人



宇宙ミステリーツアー 2020



たなばたの星



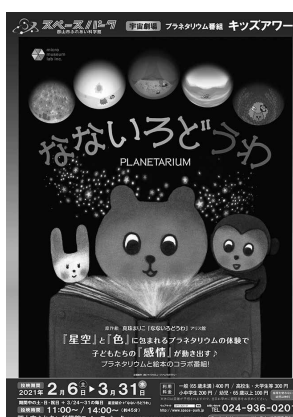
宇宙の金・銀・銅



月をみよう!



うごかない星・うごく星



なないろどうわ
プラネタリウム

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル（対象）	投映期間	投映回数	観覧者数
星座を見つけよう（小学校低学年以上）	通 年	13回	722人
日なたと日かげ（小学校中学年以上）		7回	417人
月と星の動き（小学校中学年以上）		38回	2,689人
月と太陽（小学校高学年以上）		3回	172人
地球と宇宙（中学生向け）		3回	108人
宇宙のお話（中学生以上）		0回	0人

観覧者総数 4,108人

幼児番組 ※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	令和2年4月～5月 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月1日(水)～5月17日(日)投映休止	0回	0人
たなばたとあまのがわ	令和2年6月～7月	13回	739人
つきってどんどこ？	令和2年8月～10月	8回	375人
ながればしをさがそう	令和2年11月～12月	6回	390人
なないろどうわとほしめぐり	令和3年1月～3月	5回	272人

観覧者総数 1,776人

ドーム映像番組

全天周映像(ドーム映像)に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を、学校長期休業期間中を中心に投映した。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため投映期間を延長したほか、入館者の分散化を図るために秋季にもドーム映像番組の投映を行った。

<「新・恐竜大進撃」>

投映期間：令和2年7月18日～9月27日の土曜・日曜・祝日・夏休み期間(8月1日～19日)の第1・4回目

<「ムーミン谷のオーロラ」>

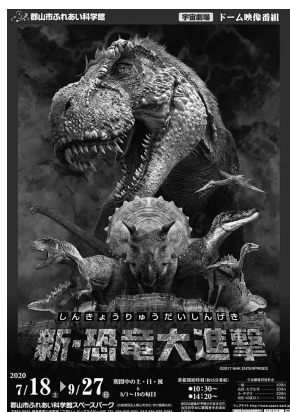
投映期間：令和2年10月3日～11月29日の土曜・日曜・祝日の第1・4回目

<「ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～」>

投映期間：12月5日～令和3年1月31日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間(12月24日～令和3年1月7日)の第1・4回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
新・恐竜大進撃	令和2年7月18日(土)～9月27日(日)	78回	4,995人
ムーミン谷のオーロラ	令和2年10月3日(土)～11月29日(日)	40回	1,108人
ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～	令和2年12月5日(土)～令和3年1月31日(日)	56回	1,190人

観覧者総数 7,293人



新・恐竜大進撃



ムーミン谷のオーロラ



ノーマン・ザ・スノーマン
～流れ星のふる夜に～

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組の放映を2回計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供した。

番組タイトル	放映日時	観覧者数
はるのほし	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月16日(木)放映休止	0人
ほしのどうぶつえん	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月21日(木)放映休止	0人
ほしぞらのたび	令和2年8月26日(水) 10時25分～11時	78人
おつきさまとあそぼう!	令和2年10月15日(木) 10時25分～11時	117人
ほしのクリスマスかい	令和2年12月17日(木)・22日(火) 10時25分～11時	166人
おたんじょうびのせいざ	令和3年2月18日(木)・24日(水) 10時25分～11時	122人

観覧者総数 483人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供した。

番組タイトル	放映日時	観覧者数
今夜の星空と日本の星座	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月28日(木)放映休止	0人
今夜の星空と天の川の旅	令和2年8月27日(木) 10時15分～11時	13人

今夜の星空と大接近する惑星	令和2年11月26日(木) 10時15分～11時	17人
今夜の星空と1等星めぐり	令和3年3月4日(木) 10時15分～11時	17人

観覧者総数 47人

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
熟睡プラネタリウム	令和2年11月21日(土)・22日(日) 18時30分～19時30分	2回	122人
おかえり!はやぶさ2	令和2年12月5日(土)・6日(日) 18時30分～19時30分	2回	44人
星空のクリスマス	令和2年12月24日(木) 18時30分～19時30分	1回	52人
ーバレンタインスペシャルー 星の輝く夜に	令和3年2月13日(土) 18時30分～19時	1回	32人

観覧者総数 250人

英語版プラネタリウム

外国人に配慮した市民誰もが気軽に利用できる施設づくりと、インバウンドに対応した利用拡大を目的として、英語による解説を行うプラネタリウム放映を2回計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)

毎週金曜日の第6回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
シンガーソングライター特集 ー女性編ー	令和2年4月1日(水)～令和2年5月31日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月 1日(水)～5月17日(日)放映休止	12回	78人
ウクレレ・ハワイアンミュージック	令和2年6月2日(火)～7月31日(金)	57回	626人
月読の唄 ー特別版ー	令和2年8月1日(土)～9月30日(水)	64回	928人
スターライトクラシック vol.6 ～組曲『惑星』より～	令和2年10月1日(木)～11月29日(日)	61回	625人
SNS 歌謡祭 2020	令和2年12月1日(火) ～令和3年1月31日(日)	57回	927人
北欧とケルトの世界	令和3年2月2日(火)～3月31日(水)	55回	588人

観覧者総数 3,772人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<プラネタリウムウィンターコンサート「名渡山遼プラネタリウムコンサート～春夏秋冬～」>

☆開催日 令和2年7月4日(土)

☆開催時間 ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演奏 名渡山 遼さん、

福島県立あさか開成高等学校フラ・タヒチアンダンス同好会

(3)全国プラネタリウム大会

日本プラネタリウム協議会(JPA)と共催しての大会の開催、市民向けのプラネタリウムを活用した事業の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となった。

全国プラネタリウム大会 2020・郡山

プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育及び天文普及に寄与することを目的に、プラネタリウムに関する研究発表、実践報告、基調講演、ブース展示等を行うことを予定した。

☆開催時間 令和2年6月8日(月)～10日(水)を予定したが、令和2年10月19日(月)～21日(水)に延期。その後、令和3年度に再延期。

プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会開催を契機に、プラネタリウムの魅力を多角的に紹介し、天文に関する興味関心を喚起することを目的に、全国で特色ある放映を行っているプラネ

タリウム解説者による講演や、期間限定でのドーム映像番組投映を行うことを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期となった。

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約 6 分の 1 に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10 時～17 時 45 分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を 30 分ごとに 10 人程度のところを半数程度にして運用。

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10 時～17 時 45 分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を 30 分ごとに 7 人程度のところを半数程度にして運用。

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10 時～17 時 45 分（随時）※土・日・祝日・学校長期休業期間中は 10 時 30 分から 17 時 30 分まで 30 分ごとに整理券を配布（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運用間隔を 20 分ごとから 30 分ごとに変更して運用。）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 1 回 4 人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を半数にして運用。）

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等）に開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
ブンブンごま	ひもをねじって回すとブンブンと音が出るこまを製作した。
クリスマスカード	期間限定のクリスマスカードを製作した。
くるりんパズル	紙を折りたたんで4枚の絵をそろえるパズルを製作した。
ビー玉ごま	回すと模様がかわって見えるこまを製作した。

資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（寄贈）

スペースフロンティア	宇宙服（レプリカ）	
	宇宙服（レプリカ）	
	さわれる宇宙服（レプリカ）	所有：日本宇宙少年団（借用）
	H-IIA ロケット フェアリング	所有：JAXA（借用）
	H-IIB ロケット（1/25 模型）	日本宇宙少年団（借用）
その他	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団（借用）

（3） 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約 20 分間）

☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 14 人程度（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。）

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和2年 4・5月	プルプル科学	18 回	66 人	巨大化するスライムを作り、ゲルの特徴を説明した。力を加えたり振動を与えることで、性質が変わる物質を紹介した。
令和2年 6・7月	見た目にだまされるな！光の実験	56 回	443 人	サーモグラフィを用いて赤外線分布を調べた。紫外線に反応する石やハガキへ照射すると特殊な光が見える実験などを行った。
令和2年 8・9月	魔法の粉で大実験	102 回	875 人	透明な液体に粉を入れて混ぜると液体の色が変化する様子を見た。洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると多量の泡が発生する実験などを行った。

令和2年 10・11月	あっ!と驚く圧力の科学	82 回	534 人	マシュマロの周りの空気を抜いて気圧を低下させ、マシュマロ内部の空気圧によりマシュマロを膨らませる実験などを行った。
令和2年12月 ～令和3年2月	静電気で大実験	88 回	507 人	静電気が起きる仕組みを身近な物を使って紹介した。また、ライデン瓶に溜めた静電気を人体に流す実験などを行った。
令和3年 3月	風船で大実験	44 回	287 人	柑橘系果物の皮に含まれるリモネンがゴムを溶かす性質を利用したゴム風船割りやゴム風船の伸び縮みで温度が変わるなどの実験を行った。
令和2年 8月 (夏休み)	びっくり! 超低温の世界	19 回	255 人	液体窒素の中に濡れた紙やボールなどを入れて凍らせたり、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。

参加者数 2,967 人



見た目にだまされるな! 光の実験の様子



あっ!と驚く圧力の科学の様子



静電気で大実験の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催時間 ① 11時30分～、② 14時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14人程度(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和2年 4月	空気の実験	30 回	12 人	飛行機がどうして空を飛べるのかをサブテーマとして、空気の流れのふしぎを探りながら、最後には陸上ヨットを使って、揚力の実験を行った。またリング飛行機を工作した。

令和2年 5・6月	時間をはかろう!	74 回	118 人	「時の記念日」制定 100 周年にちなんで、自然や科学技術を駆使して、人類がどのように、より正確な時間を知ろうとしてきたかを実験した。日時計や砂時計、水時計の実験やクォーツ時計の中身の観察などを行った。さらに、砂時計作りを行った。
令和2年 7・8月	いろいろな紙	112 回	621 人	熱で描ける紙や元に戻る紙など、特殊な紙の体験や、紙の目の実験、さらに紙のでき方を職員が取材した様子の紹介などを行った。また、紙相撲の工作を行った。
令和2年 9・10月	カタチの科学 ～どんな科学がか くされているのか な?～	108 回	598 人	しゃぼん玉やペットボトル、マンホールやハチの巣など、身のまわりのいろいろな形やその科学的な側面について、実験を行った。最後にタングラムを作って、挑戦してもらった。
令和2年 11・12月	鏡に映る自分は 本当の自分? ミラーの科学	104 回	452 人	鏡をテーマに、光を反射させる実験や曲面の鏡を使った実験を行ったほか、合わせ鏡の実験も行った。また、簡易万華鏡の製作を行った。
令和3年 1・2月	浮いたり沈んだ り!浮力のふしぎ	88 回	390 人	ものの浮き沈みをテーマに、とうもろこしの種にポップコーンをうずめて振る実験や身のまわりのものが水に浮くかどうかの実験を行ったほか、液体同士の浮き沈みの実験も行った。また、浮沈子の工作を行った。
令和3年 3月	電気の大実験 ～電池作りや発 電をしてみよう～	54 回	237 人	身近にあるもので電気が流れるかどうかの実験を行ったほか、塩水と2種類の金属で電池を作る実験、さらに、光で電気を作る実験を行った。また乾電池チェッカーの工作を行った。

参加者数 2,428 人



時間をはかろう!の様子



いろいろな紙の様子



カタチの科学～どんな科学がかくされているのか～の様子

3D 天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

☆定員 12 人程度（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。）

参加者数 816 人



3D 天文シミュレーションの様子

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機の打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開予定だったが、今年度は、開館時間中の打ち上げの生配信は行われなかった。

(2) 展望ロビーパネル展

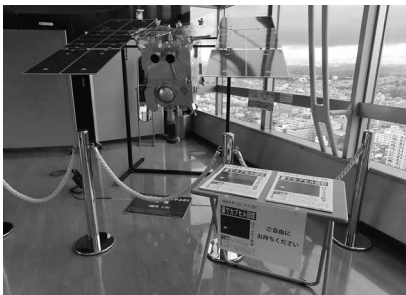
スペースパーク×福島民報社コラボイベント はやぶさ2パネル展「小惑星 探査の旅」

小惑星探査機「はやぶさ2」の地球帰還にあわせ、はやぶさ2に関する福島民報掲載の紙面や探査に関する写真・資料のパネル展示のほか、はやぶさ2の1/2模型の展示を行った。

☆開催日時 令和2年11月20日(金)～12月6日(日)

☆主 催 郡山市ふれあい科学館、福島民報社

☆協 力 JAXA(宇宙航空研究開発機構)、株式会社きら



はやぶさ2パネル展（模型展示）の様子

パネル展「地球帰還！ はやぶさ2の歩み」

小惑星探査機「はやぶさ2」の地球帰還の成功を受け、探査のあゆみやサンプル採取に関する最新情報をパネルで解説した。

☆開催日時 令和2年12月8日(火)～令和3年1月11日(月・祝)

☆協 力 JAXA(宇宙航空研究開発機構)、福島民報社

パネル展「潜水調査船がみた深海生物」

海洋研究開発機構の潜水調査船が深海で遭遇した深海生物を写真で紹介するとともに、その不思議な生態の一部を解説したパネルと展示を行った。

☆開催日時 令和3年2月1日(月)～28日(日)

☆協 力 全国科学館連携協議会、JAMSTEC(海洋研究開発機構)



潜水調査船がみた深海生物展の様子

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～（約20分間）

☆見学者数 1,296人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料 金 200円（約5分間）

☆運転者数 1,184人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

ハロウィン

☆開催日時 令和2年10月1日(木)～10月31日(土) 日没～20時



ハロウィンイルミネーションの様子

クリスマス

☆開催日時 令和2年11月13日(金)～12月25日(金) 日没～20時



クリスマスイルミネーションの様子

ウィンター

☆開催日時 令和2年12月26日(土)～令和3年1月7日(木) 日没～20時

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

特別なスペースパークの夏 2020「電車のおもちゃで遊ぼう！」

プラスチックでできたレールを自由に組んで、自分だけの線路に電車や汽車を走らせる企画を開催した。

☆開催日時 令和2年7月18日(土)～8月23日(日) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 4,868人

☆展示内容 電車のおもちゃ体験コーナー



電車のおもちゃで遊ぼう!会場の様子



電車のおもちゃで遊ぼう!会場の様子

スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」

スポーツの秋にちなみ、アーチェリーやサッカーの的入れなど、いろいろなふわふわスポーツ競技に挑戦する企画展を開催した。参加者には空気の流れや放つ角度など、科学を考えて高得点をめざしてもらった。

☆開催日時 令和2年9月19日(土)～9月22日(火・祝) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,009人

☆展示内容 アーチェリーチャレンジ、Uターンボウリング、エアーサッカーゲーム、ラグビー的入れゲーム、エアーパンダバスケット



アーチェリーチャレンジ・ラグビー的入れゲーム
・エアースッカーゲームの様子



Uターンボウリング・エアパンダバスケットの様子

スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」

感覚的に音や光をあやつって、音符を跳ね返してシュートしたり、リズムを作ったりするデジタルアートコンテンツの体験やめずらしい楽器の体験、音当てゲームなど音に関する企画展を開催した。

☆開催日時 令和2年12月5日(土)～令和3年1月11日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,546人

☆展示内容 楽器体験コーナー、デジタルアートコーナー（ねらってオルゴール、積み木でリズム）、音当てゲームコーナー、サウンドアクティブライト、音の解説コーナー



楽器体験コーナーの様子



積み木でリズムを作る体験の様子

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会、元鉄道ボランティアなどの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 令和2年10月10日(土)・11日(日)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 434 人

☆内 容 (1) 鉄道ジオラマショー

土・日・祝に1日2回行っているジオラマショーを、期間中は1日3回に増便して行った。

(2) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(3) 鉄道関連写真展示・資料展示

鉄道ファンのご協力により、貴重な鉄道関連資料や写真を展示した。

(4) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(5) 手回しトロッコ「てトロ」体験

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

(6) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(7) 顔出しパネルコーナー

大きな新幹線の写真をバックに記念写真を撮ることが出来るコーナーを設置した。

(8) 工作コーナー

鉄道の絵が変わる「くるりんパズル」を作った。



手回しトロッコ「てトロ」体験



Nゲージ鉄道車両操作体験

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校と連携して、来館者にロボットと親しんでもらえる事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校で製作したロボットをはじ

めとするロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催時間 令和3年3月27日(土)・28日(日)10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 459人

<工作ワークショップ>

福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催時間 令和3年3月28日(日)14時～16時

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 10人



ロボット展示・操作体験の様子



工作ワークショップの様子

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約50分間)

☆開催時間 日曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 8人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月以降は定員を半数にして実施)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和2年 7・8月	うちわ作り	3回	36人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのうちわを製作した。
令和2年 9月	おもちゃでプログラミング	3回	35人	おもちゃのロボットをプログラミングで操作しゲームに挑戦した。

令和2年 10月	ガーランド作り	3回	11人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルのガーランドを製作した。
令和2年 11月	すごろく作り	5回	41人	自分の写真やイラストを使用してすごろくの盤やコマを製作した。
令和3年 1月	カレンダー作り	3回	16人	自由にフレームを作り顔写真を入れた、マグネットを製作した。
令和3年 2月	箸袋作り	2回	13人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルの箸袋を製作した。
令和3年 3月	パワポでプログラミング(アニメ編)	3回	31人	パワーポイントを使用したオリジナルのアニメーションを制作し、それを通してプログラミングに挑戦した。

参加者数 183人

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する計画をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- ☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間：令和2年5月2日(土)～6日(水・祝)、
②夏期期間：令和2年7月18日(土)・19日(日)

☆開催場所 展示ゾーン

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外その他機関職員など

実験工作コーナー DE エンジョイ！

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

- ☆開催日時 令和2年7月18日(土)～8月23日(日)
※土・日・祝・8月3日(月)～19日(水)に開催
10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 偏光万華鏡、ぶっとびロケット、色変わりアクセサリーなど5種類の工作メニューを数日ごとに替えて行った。

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,203 人

☆内 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッココップ等 40 種類）、サイエンスショー（パワフル空気の力、超低温の世界）、

サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

サイエンススクールの、3 つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催日時 平日の午前・午後に 1 回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生

☆参加者数 201 人

☆内 容 1・2 年 ドレミの音で大実験（20 分） 風船で大実験（20 分）
3 年 磁石の性質（30 分）
4 年 空気（水）の性質（30 分）
5 年 振り子の運動（30 分）
6 年 燃焼のしくみ（30 分）

3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

☆開催日時 平日の午前・午後に 1 回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中高校等の学校

☆参加者数 14 人

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

(5) 科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行う予定だったが、新潟大学における新型コロナウイルス感染者発生及び感染症拡大防止のため中止した。

5 教育普及活動

(1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 令和2年6月～令和3年3月（学校長期休業期間を除く。）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発出されたことに伴い、学校休業期間の延長により、4～5月の貸し出しを中止した。

☆貸出回数 35回

(2) 講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和2年7月26日(日) 19時～20時30分	大成 地域公民館	大成 地域公民館	21人	悪天候のため、星図の使い方、3D天文シミュレーションで宇宙の解説など
第2回	令和2年8月23日(日) 18時30分～20時	安積南 地域公民館	安積南 地域公民館	18人	月・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第3回	令和2年9月27日(日) 18時～19時30分	喜久田公民館	喜久田公民館	51人	月・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第4回	令和2年10月25日(日) 18時～19時30分	熱海公民館	熱海公民館	10人	月・火星の観察、星の見方の紹介など
第5回	令和2年10月31日(土) 18時～19時30分	中田公民館	中田公民館	40人	月・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第6回	令和2年11月28日(土) 17時30分～19時	大島 地域公民館	大島 地域公民館	20人	月・木星・土星・火星の観察、星の見方の紹介など

参加者総数 160人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和2年9月4日(金) 14時30分～15時10分	希望ヶ丘 こども園	11人	「風船ロケット」を先生方と製作した。
第2回	令和2年9月16日(水) 14時50分～15時50分	赤木小学校 (科学クラブ)	24人	「たまらんコップ・回るん de スッテ」を製作し、実験を行った。

参加者総数 35人



工作の様子



実験の様子

こどもまつり

第54回郡山市こどもまつりにおいて、ミュージカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和2年9月29日(火)	多目的研修室	交流会と活動テーマの検討	0人
令和2年10月6日(火)	ビッグアイ屋上	火星の観察	10人
令和2年10月14日(水)	宇宙劇場	天体写真の撮り方	10人
令和2年10月21日(水)	宇宙劇場	オリオン座流星群について	8人
令和2年10月27日(火)	宇宙劇場	プラネタリウムのおくみ	9人
令和2年12月1日(火)	宇宙劇場	プラネタリウム体験	7人
令和2年12月8日(火)	宇宙劇場	はやぶさ2について	7人

参加者総数 51人

ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

その他講師派遣

<郡山市男女共同参画フェスティバル 2020 >

☆派遣日時 令和2年6月27日(土)・28日(日) 派遣予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<平成記念郡山こどものもり公園「星空の観察会」>

☆派遣日時 令和2年7月23日(木・祝) 19時～21時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

<郡山市上下水道局「きれいな水へのかえりみちウェブツアー」>

☆派遣日時 令和2年7月29日(水)～9月30日(水)

☆派遣場所 オンライン

<大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 令和2年8月1日(土) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

<須賀川市民交流センター「tette スクールファミリー「tette でプラネタリウム」>

☆派遣日時 令和2年8月2日(日) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

<郡山石筵ふれあい牧場「第2回流星観察体験」>

☆派遣日時 令和2年8月22日(土) 18時30分～20時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<穂積小学校6年生星空観測会>

☆派遣日時 令和2年9月6日(日) 19時～20時

☆派遣場所 郡山市立穂積小学校

<郡山石筵ふれあい牧場「親子水ロケット製作打ち上げ体験」>

☆派遣日時 令和2年10月31日(土) 10時～14時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

<カルチャーパークドリームランド感謝祭>

☆派遣日時 令和2年11月1日(日) 14時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

<須賀川市稲田公民館「親子チャレンジ講座」>

☆派遣日時 令和2年11月14日(土) 18時～20時

☆派遣場所 須賀川市稲田公民館

<須賀川市民交流センター「tette スクールファミリー「tette でプラネタリウム」>

☆派遣日時 令和2年12月13日(日) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

<第4回いなわしろフェスティバル 冬>

☆派遣日時 令和3年2月7日(日) 派遣予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

<平成記念郡山こどものもり公園「日時計の工作&天文学講座」>

☆派遣日時 令和3年3月20日(土) 10時～12時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和2年9月2日(水)～9日(水)

※7日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 8人

北海道大学水産学部海洋生物科学科：1人

石巻専修大学理工学部生物科学科：2人

帝京大学理工学部バイオサイエンス学科：1人

日本大学理工学部物質応用化学科：1人

郡山女子大学短期大学部地域創成学科：3人

実習日	実習内容
令和2年9月2日(水)	開講式、実習説明、館長講話、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場機器説明
3日(木)	団体対応実習(誘導)、展示実習、宇宙劇場番組見学
4日(金)	団体対応実習(サイエンス教室)、展示実習、科学の宅配便対応
5日(土)	展示実習発表準備、同発表
6日(日)	館内対応、番組見学、催し物見学、宇宙劇場実習準備
7日(月)	休館日
8日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
9日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

インターンシップ（就業体験）受入れ

<福島大学インターンシップ>

大学の正規授業であるインターンシップ（就業体験）の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行った。

☆開催日 令和2年8月8日（土）～19日（水）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 1人（共生システム理工学類）

（4）クラブ活動

天文科学クラブ

星空観察や科学実験などを、1年を通して体験することができるクラブを開催した。

☆開催回数 6回（令和2年7月～令和3年2月）

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場

☆対象 小学3年生～中学3年生

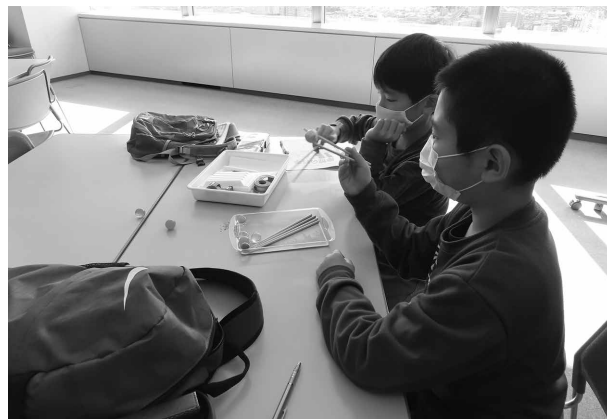
☆クラブ員 55人（Aクラス：30人、Bクラス：25人）

メニュー	クラス	開催日	参加者数
科学でマジック！	A	令和2年7月4日（土）	26人
	B	令和2年7月11日（土）	23人
電気で大実験	A	令和2年9月12日（土）	23人
	B	令和2年9月26日（土）	12人
星の調べ方	A	令和2年10月17日（土）	17人
	B	令和2年10月24日（土）	12人
まさつの科学	A	令和2年11月14日（土）	24人
	B	令和2年11月21日（土）	17人
星のきよりを調べよう	A	令和3年1月16日（土）	20人
	B	令和3年1月30日（土）	13人
望遠鏡を作ろう	A	令和3年2月13日（土）	27人
	B	令和3年2月20日（土）	15人

延べ参加者数 299人



望遠鏡作りの様子



まさつの実験の様子

(5) 講座・講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いてオンラインで開催した。

第 37 回星の講演会

<はやぶさ・はやぶさ 2 と福島>

☆講 師 出村 裕英 氏（会津大学教授・宇宙情報科学研究センター長）

☆開催日時 令和 3 年 2 月 11 日（木・祝） 16 時～ 17 時 30 分

☆開催場所 YouTube による生配信

☆参加者数 100 人（YouTube 視聴者数は 191 人）

☆内 容 小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ 2」の両方に携わった会津大学の出村先生から、2 機の活躍と福島との関わりを紹介していただいた。



開催中の様子



開催中の様子

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ®）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 7回

※令和2年4月～8月実施予定分を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

☆受講者総数 47人

< 星空案内人資格認定証授与式 >

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日 令和3年3月17日(水) 19時～19時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人1人、星空案内人(準案内人)16人

☆内容 資格認定証授与

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に2期開催した。

< 「天文学ホットピック」 >

☆開催回数 1回(令和2年9月)

※令和元年度講座の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した講座の振替開催

☆開催場所 宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
見えた!ブラックホール	令和2年9月30日(水)19時～21時	22人

延べ参加者数 22人

< 『星のソムリエ』 になりませんか? >

☆開催回数 8回(令和2年9月～令和3年3月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	令和2年9月16日(水)19時～21時	18人
星座を見つけよう	令和2年10月12日(水)19時～21時	18人
望遠鏡のしくみ	令和2年10月28日(水)19時～21時	19人
望遠鏡を使ってみよう	令和2年11月11日(水)19時～21時	17人
宇宙はどんな世界	令和2年12月16日(水)19時～21時	17人
星空の文化に親しむ	令和3年1月13日(水)19時～21時	17人

星空案内の実際	令和3年3月7日(日)15時～17時	16人
特別講座：講演会及び認定証授与式	令和3年3月17日(水)19時～21時	12人

延べ参加者数 134人



天文カレッジの様子

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

「新幹線の科学」

☆講師 小沢 喜仁 氏

(福島大学共生システム理工学類
特任教授)

☆開催日時 令和2年10月25日(日)

14時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生～一般(小学2年生以下は保護者同伴)

☆参加者数 17名

☆内容 1964年の東京オリンピックに合わせて開業した新幹線をテーマに、最先端の科学技術を取り入れて進化を続けている新幹線にはどんな科学技術が使われているのかを学ぶ実験講座を開催した。



「新幹線の科学」の様子

<日本大学工学部との連携事業>

「化学反応を使ってスーパーボールをつくろう！」

☆講師 市川 司 氏(日本大学工学部助教)

☆開催日時 令和3年2月27日(土)

14時～15時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学1年生～高校3年生(小学3年生
以下は保護者同伴)

☆参加者数 20人



「化学反応を使ってスーパーボールをつくろう！」の様子

☆内 容 地球に多く存在しているケイ素と酸素を含む物質を化学反応させて、オリジナルのスーパーボールを作る講座を開催した。

< 曾田香料株式会社との連携事業 >

「香りの魅力 - オリジナル香水を作ってみよう -」

☆講 師 小木 啓子 氏

(曾田香料株式会社調香師)

☆開催日時 令和3年3月20日(土)

13時30分～16時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学5年生以上(小学生は保護者同伴)

☆参加者数 17人

☆内 容 「香り」に関する講座を開催した。講座では、郡山市内に工場を持つ曾田香料株式会社の調香師の方に講師を依頼し、「香り」に関する講話や、オリジナル香水づくりを行った。



科学ゼミナール「香りの魅力 - オリジナル香水を作ってみよう -」の様子

連携事業

国立天文台等から講師を招いての講座を2回予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆対 象 一般(当日自由参加)

開 催 日 時	観望内容	参加者数
令和2年4月4日(土)18時30分～19時30分	月など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和2年5月2日(土)19時～20時	月など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和2年6月27日(土)19時30分～20時30分	月など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和2年7月25日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	悪天候のため中止
令和2年8月29日(土)18時30分～19時30分	月・木星・土星など	悪天候のため中止

令和2年9月26日(土)18時～19時	月・木星・土星 など	悪天候のため中止
令和2年10月24日(土)17時30分～18時30分	月・木星・土星 など	悪天候のため中止
令和2年11月21日(土)17時～18時	月・木星・土星 など	約 70 人
令和3年3月20日(土)18時30分～19時30分	月・火星など	悪天候のため中止

参加者総数 約 70 人



駅前観望会の様子

天体観望会

<火星観望会>

地球への最接近を迎えた火星を観察する観望会を開催した。

☆開催日時 令和2年10月10日(土) 18時～21時

☆開催場所 ミューカルがくと館

☆参加者数 30人

☆内 容 Mitaka 3D での火星の紹介、望遠鏡見学、星座早見盤の工作と使い方



解説の様子



望遠鏡見学

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆開催日時 令和2年4月～令和3年3月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートする予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
オーロラ写真展	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月1日(水)～5日(日)開催中止
太陽系の惑星たち	令和2年5月19日(火)～6月30日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月11日(土)～5月17日(日)開催中止
銀河の姿	令和2年7月4日(土)～9月30日(水)
いろいろな望遠鏡	令和2年10月3日(土)～12月13日(日)
南天星座の世界	令和2年12月19日(土)～令和3年2月28日(日)
第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和3年3月6日(土)～3月31日(水)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展 示 期 間
2020 年ノーベル賞紹介パネル展	令和2年10月10日(土)～令和3年1月11日(月・祝)

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

<天文教育普及研究会東北支部会>

☆開催日時 令和2年3月21日(日)

☆開催場所 オンライン

7 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示を県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第6回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト>

☆テーマ 福島県内で撮影された「星・月の風景」

☆募集期間 令和2年9月1日(火)～11月8日(日)

☆協賛 (株)シグマ、(株)ケンコー・トキナー

☆後援 福島県・郡山市観光協会・

福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・
読売新聞東京本社福島支局・NHK 福島放送局・福島テレビ・福島中央
テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしま FM・郡山
コミュニティ放送

☆応募作品 431点(126人)

☆審査員 鈴木 一雄氏(自然写真家)、渡部 潤一氏(天文学者)、岡崎 強(郡
山市ふれあい科学館長)

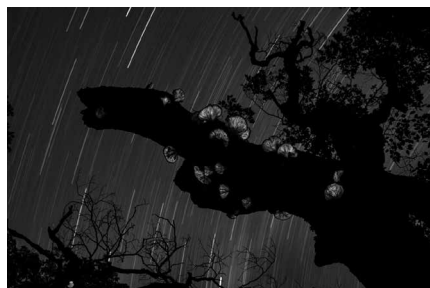
☆受賞作品 大賞1点、名誉館長特別賞1点、審査員特別賞2点、特別賞5点、入賞
31点

☆展示期間 令和3年3月6日(土)～7月11日(日)

※表彰式：令和3年3月6日(土)実施予定を新型コロナウイルス感染
症拡大防止のため中止した。

☆展示場所 ホワイエ

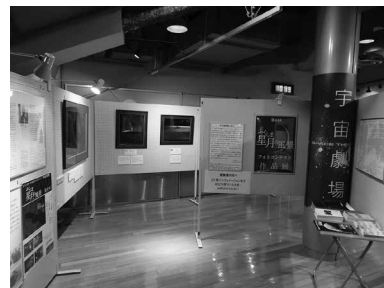
☆出版物 「ふくしま星・月の風景 Vol.6 ―第6回ふくしま星・月の風景 作品
写真集―」



【大賞】「光の共演」



審査の様子



作品展会場の様子

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

三鷹展

☆展示期間 令和2年4月1日(水)～12日(日)

開催予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

令和2年7月25日(土)～8月30日(日)
☆展示場所 天文・科学情報スペース (東京都三鷹市)
☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース
☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点

福島展

☆展示期間 令和2年8月8日(土)～9月6日(日)
☆展示場所 福島テルサ(福島市)
☆主催共催 福島市写真美術館
☆内 容 過去の選出作品から、月を題材とした作品30点

石川展

☆展示期間 令和2年10月1日(木)～11月29日(日)
☆展示場所 いしかわ子ども交流センター(石川県金沢市)
☆主催共催 いしかわ子ども交流センター
☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点

いわき展

☆展示期間 令和3年2月20日(土)～3月28日(日)
☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
☆内 容 第2回コンテスト選出写真40点

つくば展

☆展示期間 令和3年3月20日(土)～31日(水)
☆展示場所 つくばエキスポセンター(茨城県つくば市)
☆主催共催 公益財団法人つくば科学万博記念財団
☆内 容 第5回コンテスト選出写真40点

8 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

9 調査・研究

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和2年10月19日(月)～20日(火)	オンラインプラネタリウム研究会2020(オンライン)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査
令和2年11月16日(月)～22日(日)	JGSS フィルムフェスティバル2020(オンライン)	ドーム映像番組に関する情報収集
令和3年3月21日(日)	プラネタリウム技術の系統化調査報告(オンライン)	プラネタリウム技術の系統化調査報告(オンライン)

(2) 天文学術会議調査

最新の天文学や天文普及の手法に関する調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和2年8月16日(日)～18日(火)	第34回天文教育研究会(オンライン)	天文教育に関する調査
令和2年9月8日(火)～10日(木)	日本天文学会2020秋季年会(オンライン)	最新の天文学に関する調査
令和2年11月12日(木)～13日(金)	日本惑星科学会2020秋季講演会(オンライン)	最新の惑星科学に関する調査
令和3年3月2日(火)	シンポジウム「今後の博物館制度を考えるー博物館法改正を見据えて」(オンライン)	博物館法改正による博物館認証制度等の調査
令和3年3月7日(日)・8日(月)	研究会「パンデミックの中での星空案内について考える」(オンライン)	天文教育・星空案内人の養成および活動に関する調査
令和3年3月17日(水)	日本天文学会2021春季年会(オンライン)	最新の天文学に関する調査
令和3年3月21日(日)	天文教育普及研究会東北支部会(オンライン)	天文教育普及活動に関する調査及び当館の事例発表

(3) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和2年10月13日(火)	全国科学館連携協議会 令和2年度第1回 国内科学館研修(オンライン)	コロナ禍における科学館活動アイデアに関する調査
令和3年2月26日(金)	令和2年度第2回全国科学博物館協議会第28回研究発表大会等(オンライン)	博物館の社会的役割に関する調査

(4) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業等が出展する展示会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
令和2年 11 月 28 日(土)	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2020 (ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

(5) 会津大学宇宙情報科学研究センターとの共同研究

月惑星探査で得られたデータの可視化による、科学館等における展示や教育現場で活用できるツール作成に向けた共同研究（萌芽研究）が採択された。

課題名：月惑星探査データの研究初学者および教育現場での活用に向けたデータキュレーション

(6) 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞

令和元年度に講師を派遣して、郡山市上下水道局、日本大学工学部、郡山市ふれあい科学館が連携して実施した「謎解き☆きれいな水へのかえりみちバスツアー」が、広報・教育部門で令和2年度（第13回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）を受賞した。



国土交通大臣賞 市長報告の様子

10 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。歯ブラシと電動ミルクフォーマーを使って「動くおもちゃ」などの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月1回 日曜日（令和2年7月～令和3年2月）10時～12時

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 8回

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、小野 一豊氏、横田 俊徳氏

☆内 容 遠心力で回り続けるコマ、太陽・地球・月、カライドサイクルを作ろう、箱カメラを作ろう、音の出る仕組みを発明しよう、バimetalを作ろう、三角コプターを作ろう、金属で発明しようなど。



金属で発明しよう

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動が続いている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 令和2年4月～令和3年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 望遠鏡工作、科学実験会など

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、メールまたはオンラインでリーダー会議を行った。

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し、科学普及等の情報交換を行った。

<第1回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和3年3月16日(火) 14時～16時

☆開催場所 オンライン会議

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパーク
ボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、
今年度17年目を迎えた。



スペースパークボランティアの会

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動
範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティ
ア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。

<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション及びボランティア研修
令和2年3月1日(日)～4月30日(木)	令和2年6月28日(日) 令和2年8月9日(日) 令和2年9月13日(日)

※登録前オリエンテーション及びボランティア研修

スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的と
したオリエンテーションと研修を開催した。

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	10人	34人	34人	78人
令和2年度登録者	0人	2人	2人	4人
合 計	10人	36人	36人	82人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	40人	38人	45人	32人	1人	69人	6人	3人
令和2年度登録者	1人	3人	0人	2人	2人	4人	0人	0人
合 計	41人	41人	45人	34人	3人	73人	6人	3人

☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	3人	5人	7人	4人	17人	29人	15人	2人

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活 動 日 時 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 14 時間

☆延べ活動人数 6 人

○科学グループボランティア

☆活 動 日 時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 347 時間

☆延べ活動人数 104 人

○天文グループボランティア

☆活 動 日 時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 57 時間

☆延べ活動人数 24 人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指すものであったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の参加を中止した。

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

＜館事業サポート活動＞

○サイエンスフェスティバル（夏期）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となった。

○夏休み工作コーナー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となった。

○鉄道フェスティバル

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の参加を中止した。

☆開催日 令和2年10月10日（土）・11日（日）

＜科学館の事業における天体観望会等＞

○駅前観望会

☆開催回数 1回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

☆開催回数 6回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

☆開催回数 5回

☆開催場所 大安場史跡公園、平成記念郡山こどものもり公園、石筵ふれあい牧場、穂積小学校、須賀川市稲田公民館

☆内 容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

＜科学グループ研修＞

○科学ボランティアツアー（自主研修）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

＜科学グループ自主勉強会＞

○科学ボランティア勉強会

☆開催日 令和3年1月24日（日）

☆テーマ 「ワクチンについて」、「コロナと献血」

☆開催場所 多目的研修室

令和２年度活動報告、役員選出案、令和３年度活動計画案を審議する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した

科学館のウェブサイトに掲載している、S・P・Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S・P・Vつうしん」を年2回発行した。



Ⅲ 広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行した。

☆構成 A4カラー2ページ

☆発行総数 300,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数 175回

☆参照回数 201,153回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数 14回

☆配信先 882か所（令和3年3月時点）

テレビスポット

☆期間等 令和2年8月1日～16日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 夏休みドーム映像番組「新・恐竜大進撃」

☆期間等 令和2年8月1日～16日 福島中央テレビ、15秒スポット35本

☆内容 施設イメージ映像によるPR

☆期間等 令和2年12月5日～27日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～」・スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」

新聞広告

☆掲載日等 令和2年12月18日・令和3年1月1日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～」・
スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTロリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

SNS 等による情報発信（＃おうちでスペパ）

Facebook によるイベントや番組の情報発信を行った。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「＃おうちでスペパ」を行った。

☆更新回数：Facebook 73 回、Instagram 415 回、YouTube 33 回

(2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (89)
小学校	市内 (54)、市外 (193)
中学校	市内 (28)、市外 (46)
公民館	市内 (43)
関係機関・道の駅など	市内 (56)、市外 (55)

2 営業活動

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市外教育施設等への営業訪問は実施しなかった。市内小中学校については、来年度の学校利用についての説明のため全校営業訪問を実施した。

営 業 訪 問 先	
小学校（義務教育学校含む）	市内（51）
中学校（義務教育学校含む）	市内（27）
ホテル・商店・病院など	ホテル（18）、観光業者（5）、商店（15）、病院（4）、 その他（20）

Ⅳ 令和 3 年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分		19 時 (※)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	19 時 (※)

※金曜日のみ投映

※夏休み期間及び秋・冬・春期間は別途番組開始時刻を定め実施

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
星空 100 万年の旅	令和3年4月1日(木)～4月30日(金)
宇宙を旅する ―宇宙開発 新時代―	令和3年5月1日(土)～6月30日(水)
惑星ツアー	令和3年7月1日(木)～8月31日(火)
開館 20 周年記念 21 世紀の宇宙 ―驚きと発見の 20 年―	令和3年9月1日(水)～10月31日(日)
宇宙の地図作り	令和3年11月2日(火)～12月30日(木)
爆発する星たち	令和4年1月2日(日)～2月27日(日)
光のカーテン ―オーロラ紀行―	令和4年3月1日(火)～3月31日(木)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により放映回は異なる。）

番組タイトル	放映期間
おたんじょうびのせいざ	令和3年4月1日(木)～5月30日(日)
おひりめばし・ひこばし	令和3年6月5日(土)～7月31日(土)
宇宙ミステリーツアー 2021	令和3年8月1日(日)～9月26日(日)
ながればしをみよう!	令和3年10月2日(土)～11月28日(日)
こどものほしたち	令和3年12月4日(土)～令和4年1月30日(日)
せかいのほしぞら	令和4年2月5日(土)～3月31日(木)

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル（対象）	放映期間
星座を見つけよう（小学校低学年以上）	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日（第1・2回目）
日なたと日かげ（小学校中学年以上）	
月と星の動き（小学校中学年以上）	
月と太陽（小学校高学年以上）	
地球と宇宙（中学生向け）	
宇宙のお話（中学生以上）	

幼児番組

※学習番組枠で希望により放映（幼児週間以外）

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
うちゅうきちへいこう！	令和3年4月～5月
たなばたとなつのほし	令和3年6月～8月
なないろどうわとほしめぐり（秋）	令和3年9月～11月
たいようけいたんけんたい	令和3年12月～令和4年3月

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

投映時間：7/17～8/24（7/19を除く）の第1・3・5回目、12/4～1/10の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目

番組タイトル	投映期間
アニマル・ハンター	令和3年7月17日(土)～8月24日(火)
星のまもり鳥／ヒーリングアース	令和3年12月4日(土)～令和4年1月10日(月)

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。（字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記サークル」）

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。
（年2回）

☆定 員 各110人

いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空と5月26日の皆既月食	令和3年5月20日(木)
今夜の星空と世界の星空	令和3年8月26日(木)
今夜の星空と天界2022	令和3年11月25日(木)
今夜の星空と日本の星座	令和4年3月10日(木)

ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投 映 日
はるのほし	令和3年4月22日(木)
ほしのどうぶつえん	令和3年5月27日(木)
ちいさなせかい・おおきなうちゅう	令和3年8月25日(水)
ほしぞらピクニック	令和3年10月28日(木)
ほしぞらクリスマスかい	令和3年12月16日(木)・21日(火)
たのしいうちゅうりょこう	令和4年2月17日(木)・22日(火)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 セタやお月見・クリスマス等の年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

(年6回実施予定)

☆定 員 各 110 人

英語版プラネタリウム

英語における解説を加えたプラネタリウム投映を行い、市内・県内在住の外国人の観覧機会を提供する。

☆内 容 英語による星座解説と宇宙の話題の紹介。

(年2回実施予定)

☆定 員 各 110 人

プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会・郡山の開催を記念し、期間限定でのドーム映像番組の投映や、全国で特色あるプラネタリウム解説者による講演を行う。

<ドーム映像まつり>

☆開催日時 全国プラネタリウム大会開催前後の休日

☆内 容 期間限定でのドーム映像番組8本程度の投映。

☆定 員 各 110 人

<特別投映「星兄の爆笑！プラネタリウムショー」>

☆開催日時 全国プラネタリウム大会開催前後の休日

☆内 容 爆笑星空解説を全国で行っている星のお兄さん（星兄：田端英樹氏）の
プラネタリウム解説。

☆定 員 各 110 人

<講演会と「ブラック星博士ライブショー」（仮称）>

☆開催日時 全国プラネタリウム大会開催前後の休日

☆内 容 日本標準時の子午線のある街・明石市立天文科学館から、ブラック星博士と井上毅館長を迎えて、時と天文の関わりの話題を紹介する講演会とプラネタリウムライブショーを行う。

☆定 員 各 110 人

開館 20 周年記念 宇宙劇場特別イベント

開館 20 周年を記念し、期間限定でのドーム映像番組の投映や、宇宙劇場を活用した特色あるイベントを行う。

<ドーム映像番組「銀河鉄道 999」>

☆開催日時 令和 3 年 10 月～11 月

☆内 容 松本零士名誉館長の作品「銀河鉄道 999」のドーム映像番組の投映。

☆定 員 各 110 人

<黒田有彩トークイベント>

☆開催日時 秋季

☆内 容 宇宙飛行士を目指すタレント・黒田有彩による宇宙をテーマとしたトークイベント。

☆定 員 各 110 人

<声優星空プラネタリウム朗読会>

☆開催日時 冬季

☆内 容 声優による朗読とプラネタリウムによる星空の演出を加えた朗読会。

☆定 員 各 220 人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催日時 平日（祝日・学校休業期間等を除く。） 15 時 30 分～16 時 15 分、土曜・日曜・祝日・学校休業期間等 17 時～17 時 45 分、毎週金曜日 19 時～

19時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各110人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催する。

<宇宙劇場コンサート「郡山ウインドアンサンブル ブラスコンサート」>

☆開催日時 冬期

☆演奏者 郡山ウインドアンサンブル（金管五重奏団）

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各100人

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に提供する。

(2) 常設展示物の活用

展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

<ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピンの前

<わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日時 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等）に開催）

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 科学工作

科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）

宇宙メダカの展示

(3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。（約 20 分間）

☆開催日時 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14 人程度

☆内容 風船で大実験、台所で科学実験、サバイバルの科学など

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。（約 20 分間）

☆開催日時 毎日 11 時 30 分～、14 時～

（サイエンスフェスティバル開催日は除く。）

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14 人程度

☆内容 電気の大実験～電池作りや発電をしてみよう～、レンズで実験しよう！
など

3D天文シミュレーション

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15 時～

- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 12 人程度
- ☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

3 展望ロビー利活用事業

(1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機の打ち上げ時に JAXA が配信を行う映像をリアルタイムで公開する。

(2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(3) Nゲージ鉄道ジオラマ

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が 9 mm の N ゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の① 11 時～ ② 15 時～ (約 20 分間)

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分 (ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

☆料 金 200 円 (約 5 分間)

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(4) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する。

ハロウィン

☆開催日時 令和3年10月1日(金)～10月31日(日) 日没～20時

クリスマス

☆開催日時 令和3年11月12日(金)～12月25日(土) 日没～20時

ウィンター

☆開催日時 令和3年12月26日(日)～令和4年1月上旬 日没～20時

4 展示ゾーン利活用事業

(1) 企画展

スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」

およそ4500年も昔に建造されたピラミッド。今なお謎の多いピラミッドは、なぜ、どうやって建てられたのでしょうか？科学の力でピラミッドの謎に迫る。

☆開催日時 令和3年7月17日(土)～8月24日(火) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆展示内容 ピラミッドを作ろう、挑戦！ピラミッドパズル、太陽と星が知らせる時、ミイラのひみつなど

スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」

自分でかいたお魚の絵が自由に泳ぐアトラクションなど、最新テクノロジーをつめこんだ未来の遊園地「デジタルパーク」をお楽しみいただく。

☆開催日時 令和3年12月4日(土)～令和4年1月10日(月) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆展示内容 Drawing Aquarium、Runnning Game、どうぶつコマ対決、風船 Drawing、漢字遊戯など

スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット製作等に取り組んでいる近隣の実業高等学校等と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。

☆開催日時 令和4年3月26日(土)・27日(日)

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ロボット展示、操作体験

大会やコンテストに出場したロボット等、高校生が製作したロボットの展示や操作体験を行う。

ロボット工作

簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 令和3年10月9日(土)・10日(日)

☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 一般来館者、展示ゾーン入館者

☆内 容 鉄道関連資料・写真展示、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

(2) パソコン工房の活用

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

☆開催日時 日曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 8人

☆内 容 うちわ作り、おもちゃでプログラミング、ボールペン作り、すごろく作りなど

(3) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催時間 ①ゴールデンウィーク期間：令和3年5月1日(土)～5日(水・祝)

②夏期期間：令和3年7月17日(土)・18日(日)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆講 師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外その他機関職員など

☆内 容 プラ板キーホルダー、ダイラタンシーの実験、万能風車ほか

夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

☆開催時間 令和3年7月20日(火)～8月24日(火)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 パタパタマグネット、残像ピラミッド、ピラミッドパズル

(4) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校団体等

☆内 容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッココップ等25種類)

サイエンススクール(団体向け)

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

- ① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー
- ② 科学館だからこそできるダイナミックな実験
- ③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ(ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。)

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生

☆定 員 50人程度

☆内 容 1・2年 ドレミの音で大実験(20分) 風船で大実験(20分)
3 年 磁石の性質(30分)
4 年 空気(水)の性質(30分)
5 年 振り子の運動(30分)
6 年 燃焼のしくみ(30分)

3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小中高校等の学校

☆定員 1回30人程度

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

（5）科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行う。

☆開催日時 令和3年11月27日（土）・28日（日）

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室（20階）

☆対象 展示ゾーン入館者

5 教育普及活動展

（1）学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議などを身近に触れることができる巡回展を行う。

☆開催期間 令和3年4月～令和4年3月（学校長期休業期間を除く。）

☆対象 市内小中学校

（2）講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 令和3年4月から11月まで

☆開催回数 8回（予定）

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定員 各50人程度（各公民館で募集）

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日13時以降（各月申込み月日で調整する。2～3団体程度）

（ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。）

- ☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など
- ☆対象者数 20人以上150人程度の団体（要相談）
- ☆内 容 団体向け科学工作メニュー（25種類）の中から1つを選ぶ

こどもまつり

郡山市から第56回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する。

- ☆開催日時 令和3年ゴールデンウィーク期間
- ☆開催場所 オンライン
- ☆活動内容 家庭でできる科学工作・実験の紹介
- ※主催：こどもまつり実行委員会

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する

- ☆開催期間 令和3年6月、7月、9月、10月、11月、12月を予定
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

- ☆開催期間 通年

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

- ☆開催期間 通年

(3) 職場体験としての機会提供

博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

- ☆開催期間 令和3年9月1日（水）～8日（水）
※6日（月）の休館日を除く7日間

インターンシップ（就業体験）受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機とな

り、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

(4) クラブ活動

天文科学クラブ

天文分野は、宇宙劇場（プラネタリウム）や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を高め、科学分野は、実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催日時 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 8回（令和3年6月～令和4年2月）

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 20人×2クラス（合計40人）

(5) 講演会

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

＜第38回星の講演会「ブラックホールとは何か？～最新研究で迫るその正体～」＞

☆開催日時 令和4年2月23日（水・祝）16時～17時30分

☆講師 当真 賢二氏（東北大学 准教授）

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 100人

☆内容 観測の成功が話題となったブラックホールについて、その観測プロジェクトの理論研究メンバーにブラックホール研究の最前線とその魅力を紹介いただく。

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ®）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ®：星空案内人」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、12回（通年）

☆対象 一般（高校生以上）

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 12回（令和3年6月～令和3年3月）

☆対 象 一般（高校生以上）

☆募集人数 16 人

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 3 回程度

☆連 携 先 福島大学、日本大学、曾田香料株式会社など

連携事業

<連携機関等からの講師招聘による天文学の講座>

☆概 要 連携機関の専門家を講師に招いての講座・ワークショップを行う。

☆開催回数 2 回程度

(6) 観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般（当日自由参加）

天体観望会

<部分月食観望会>

令和 3 年 11 月 19 日の部分月食を観察する観望会を開催する。

☆開催日時 令和 3 年 11 月 19 日（金） 16 時 30 分～ 20 時

☆開催場所 展望ロビー

☆内 容 双眼鏡や望遠鏡による月食の観察

(7) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。

☆実施期間 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループに、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートいただく。

6 宇宙や科学に関する情報発信事業

(1) 企画パネル展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催する。

テーマ	展 示 期 間
第6回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和3年3月6日(土)～7月11日(日)
日本星景写真協会写真展「星の風景2021」	令和3年7月17日(土)～9月26日(日)
恒河沙 in スペースパーク 板橋克己作品展	令和3年10月2日(土)～11月28日(日)
日本の宇宙飛行士たち	令和3年12月4日(土)～令和4年1月30日(日)
太陽のすがた	令和4年2月5日(土)～令和4年3月27日(日)

展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

(2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

7 開館 20 周年記念事業

開館 20 周年記念事業

令和3年10月2日展望ロビーで開館20周年記念式典を行う。あわせて、10月2日・3日に科学館及びビッグアイを会場に記念事業を開催する。

☆開催時期 令和3年10月2日(土)・3日(日)

☆開催場所 宇宙劇場、展望ロビー、展示ゾーン、他目的研修室、ビッグアイ7階大会議室

☆対 象 一般来館者(2日間入場無料)

8 作品募集

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。
＜「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展＞

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

9 出版

(1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開する。

10 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

11 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和3年5月～令和4年2月 毎月1回日曜日(年10回) 10時～12時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に加盟して、サイエンス

フェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

全国プラネタリウム大会・郡山

日本プラネタリウム協議会主催の全国プラネタリウム大会を共催し、当館を会場に全国のプラネタリウム関係者による研究発表や基調講演、ブース展示等を通して、プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育および天文普及に寄与する。

☆開催期間 未定

(2) ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

―活動開始までの流れ―

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内グループ」

☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演

☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

「科学グループ」

☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、サイエンスフェスティバルへの参加

☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

「天文グループ」

☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。

☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。

☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 令和3年度広報・営業活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行する。

☆構成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、天文の紹介などを毎月メールで配信する。

テレビスポット

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努める。

看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行う。

SNS 等による情報発信（＃おうちでスペパ）

Facebook によるイベントや番組の情報発信を行う。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「＃おうちでスペパ」を行う。

（２） 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布する。

２ 営業活動

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、市内の小中学校を中心に科学館の施設及び事業内容を紹介するための、営業活動を展開する。

Ⅵ 予算・決算

1 令和2年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	6,614	
指定管理料収入	239,288,602	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	10,676,060	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	40,763	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	899,250	カフェ光熱水費、休業協力金、新型コロナ対策消耗品補填
雑収入	289,059	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	0	
合 計	251,200,348	

収入合計 ￥251,200,348

支出

事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	65,172,051	1 職員費 114,297,073
福利厚生費	17,519,935	
臨時雇賃金	31,605,087	2 各種業務委託 58,490,967
旅費交通費	7,960	
通信運搬費	1,235,721	3 光熱水費 19,497,327
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,197,867	4 施設管理費 30,347,150
修繕費	618,013	
印刷製本費	1,080,748	
賃借料	6,195,164	
諸謝金	200,000	
手数料	44,780	
租税公課	14,354,333	
負担金支出	130,980	
委託費	58,490,967	
広告宣伝費	1,122,000	
燃料費	51,848	
光熱水料費	19,497,327	
損害保険料	294,831	
食糧費	9,180	
減価償却費	2,803,725	
合 計	222,632,517	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
旅費交通費	92,130	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	0	2 展示ゾーン運営
消耗品費	3,110,719	3 展望ロビー利活用事業
印刷製本費	1,826,000	4 教育普及活動
賃借料	7,563,163	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	305,800	6 その他
手数料	440	
租税公課	800	
負担金支出	0	
委託費	8,396,349	
広告宣伝費	748,000	
損害保険料	6,300	
食糧費	18,794	
合計	22,068,495	

支出合計 ￥244,701,012

収支差額 ￥6,499,336

参考

使 用 料 名	金 額	説 明
ふれあい科学館観覧料	10,208,960	宇宙劇場 29,230 人 常設展示 22,327 人 ワンヤ・パスポート 60 人
ふれあい科学館使用料	467,100	ビュースコープ利用回数 2,303 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 1,184 回
合 計	10,676,060	

2 令和 3 年度予算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	244,313,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	27,000,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	150,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	88,000	宇宙劇場特別イベント共催料
雑収入	333,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	22,800,000	
合 計	294,684,000	

収入合計 ￥294,684,000

支出

事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	74,219,000	1 職員費 131,231,000
福利厚生費	20,115,000	
臨時雇賃金	36,897,000	2 各種業務委託 58,692,000
旅費交通費	477,000	
通信運搬費	1,960,000	3 光熱水費 22,904,000
消耗什器備品費	628,000	
消耗品費	3,705,000	4 施設管理費 35,449,000
修繕費	2,600,000	
印刷製本費	1,943,000	
賃借料	5,428,000	
諸謝金	200,000	
手数料	91,000	
租税公課	13,673,000	
負担金支出	175,000	
委託費	58,692,000	
広告宣伝費	1,300,000	
燃料費	123,000	
光熱水料費	22,904,000	
損害保険料	316,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	2,804,000	
合 計	248,276,000	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	0	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	707,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	182,000	3 展望ロビー利活用事業
消耗品費	6,245,000	4 教育普及活動
印刷製本費	4,391,000	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
賃借料	16,417,000	6 開館 20 周年記念事業
諸謝金	697,000	7 その他
手数料	91,000	
租税公課	15,000	
負担金支出	20,000	
委託費	15,460,000	
広告宣伝費	1,369,000	
損害保険料	263,000	
食糧費	551,000	
合 計	46,408,000	

支出合計 ￥294,684,000

Ⅶ 施設利用状況

1 月別入館者数

令和2年4月～令和3年3月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
令和2年4月	0	0	78	78
5月	1,833	259	156	415
6月	5,790	1,569	1,047	2,616
7月	9,397	3,320	2,136	5,456
8月	14,116	6,374	4,187	10,561
9月	11,804	4,566	3,794	8,360
10月	10,124	2,586	2,614	5,200
11月	11,401	3,027	2,271	5,298
12月	11,031	2,609	2,004	4,613
令和3年1月	6,422	1,496	1,191	2,687
2月	6,488	1,623	1,186	2,809
3月	9,672	1,801	1,663	3,464
合計	98,078	29,230	22,327	51,557

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成 29 年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成 30 年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203

令和2年度	98,078	29,230	22,327	51,557
合 計	4,794,108	1,332,700	1,367,814	2,752,071

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	8	82	10	0	0	4	177	44	0	0	12	259	22	0	0
6月	17	267	16	428	25	8	874	109	0	0	25	1,141	46	428	17
7月	17	503	30	251	15	10	2,566	257	0	0	27	3,069	114	251	9
8月	19	2,667	140	778	41	11	2,839	258	90	8	30	5,506	184	868	29
9月	17	517	30	1,819	107	10	2,230	223	0	0	27	2,747	102	1,819	67
10月	18	607	34	997	55	9	961	107	21	2	27	1,568	58	1,018	38
11月	14	373	27	1,001	72	11	1,653	150	0	0	25	2,026	81	1,001	40
12月	16	742	46	395	25	11	1,472	134	0	0	27	2,214	82	395	15
1月	11	296	27	126	11	12	1,074	90	0	0	23	1,370	60	126	5
2月	12	328	27	193	16	9	1,102	122	0	0	21	1,430	68	193	9
3月	19	781	41	0	0	8	1,020	128	0	0	27	1,801	67	0	0
合計	168	7,163	43	5,988	36	103	15,968	155	111	1	271	23,131	85	6,099	23

展示ゾーン

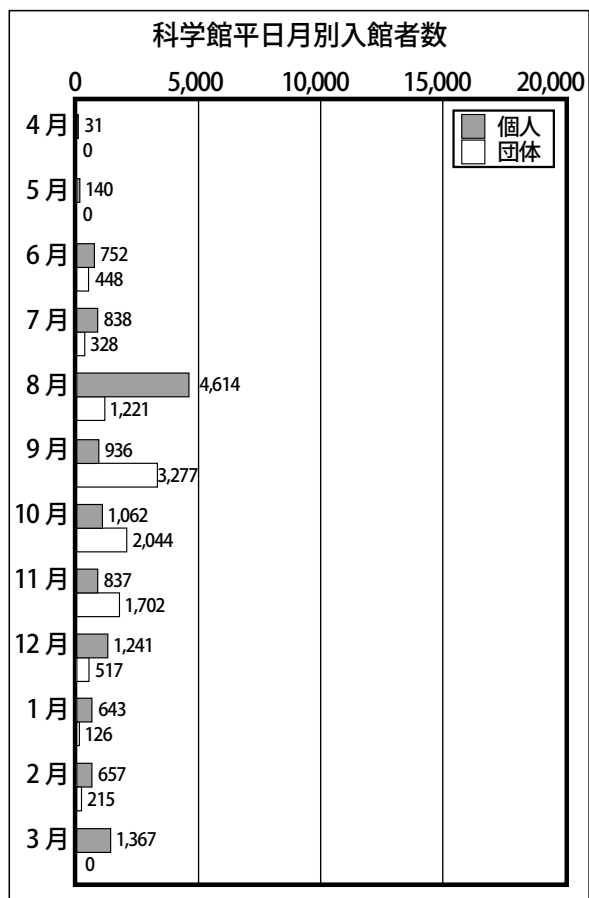
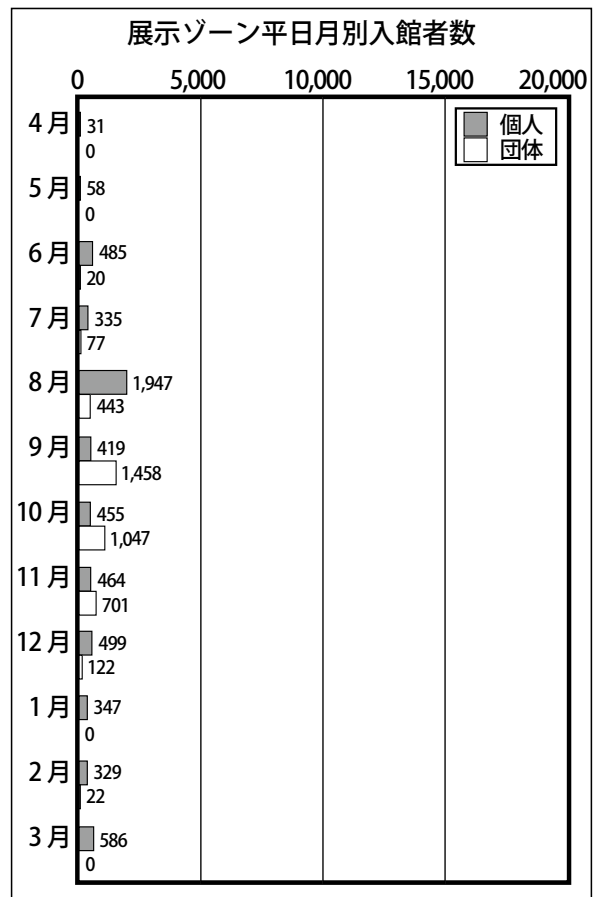
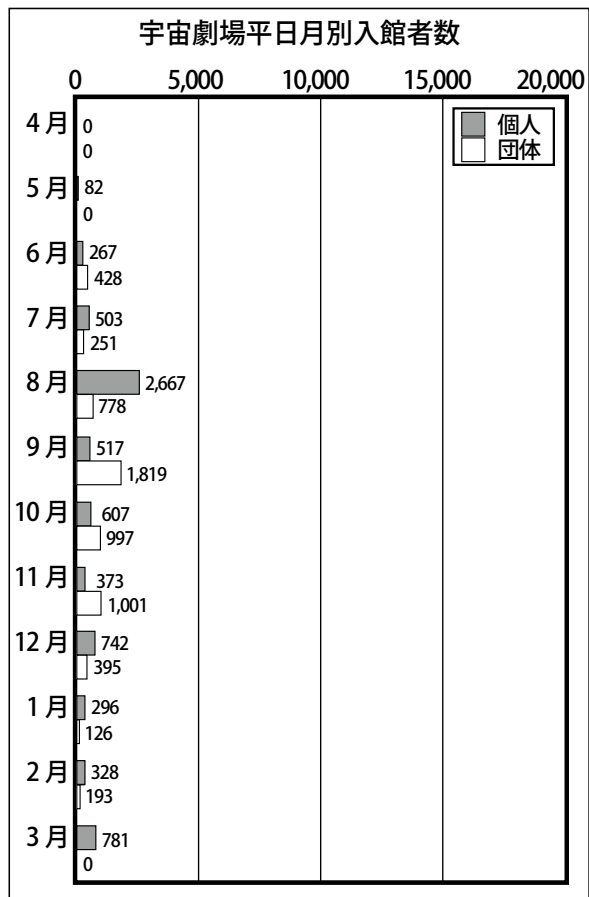
(単位：人)

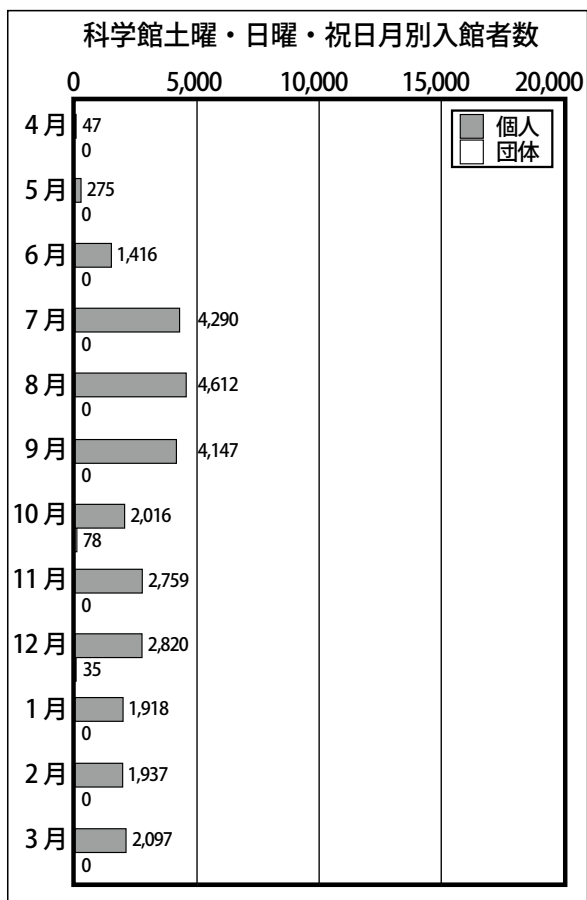
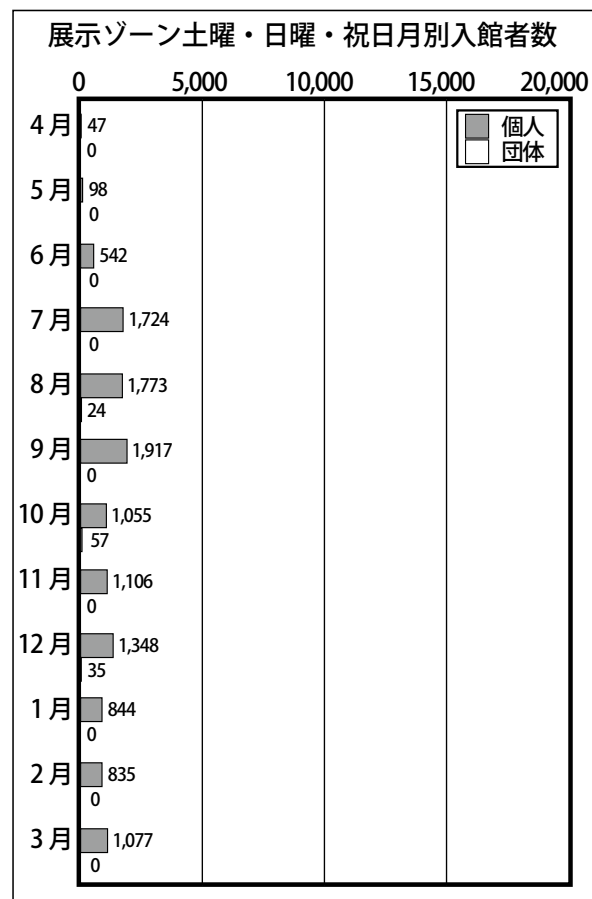
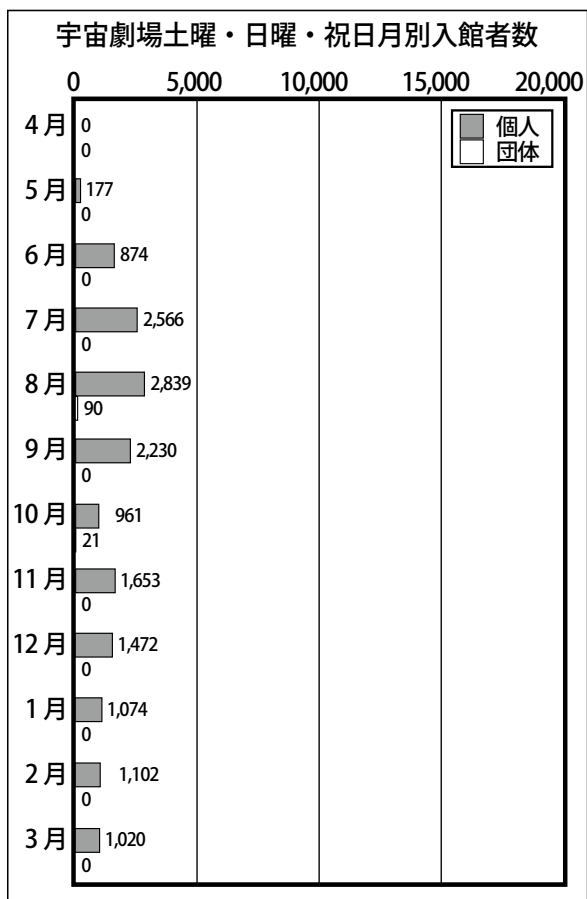
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	11	31	3	0	0	4	47	12	0	0	15	78	5	0	0
5月	8	58	7	0	0	4	98	25	0	0	12	156	13	0	0
6月	17	485	29	20	1	8	542	68	0	0	25	1,027	41	20	1
7月	17	335	20	77	5	10	1,724	172	0	0	27	2,059	76	77	3
8月	19	1,947	102	443	23	11	1,773	161	24	2	30	3,720	124	467	16
9月	17	419	25	1,458	86	10	1,917	192	0	0	27	2,336	87	1,458	54
10月	18	455	25	1,047	58	9	1,055	117	57	6	27	1,510	56	1,104	41
11月	14	464	33	701	50	11	1,106	101	0	0	25	1,570	63	701	28
12月	16	499	31	122	8	11	1,348	123	35	3	27	1,847	68	157	6
1月	11	347	32	0	0	12	844	70	0	0	23	1,191	52	0	0
2月	12	329	27	22	2	9	835	93	0	0	21	1,164	55	22	1
3月	19	586	31	0	0	8	1,077	135	0	0	27	1,663	62	0	6
合計	179	5,955	33	3,890	22	107	12,366	116	116	1	286	18,321	64	4,006	14

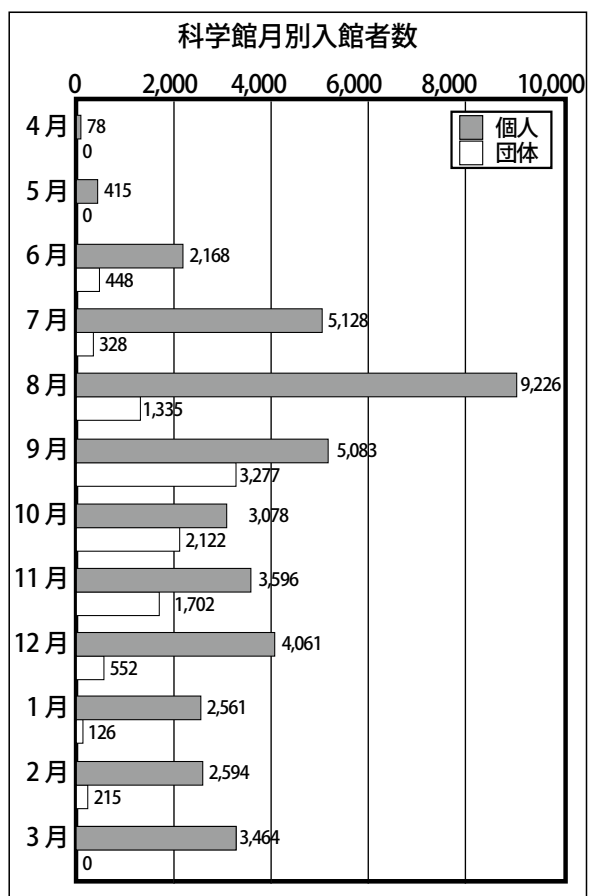
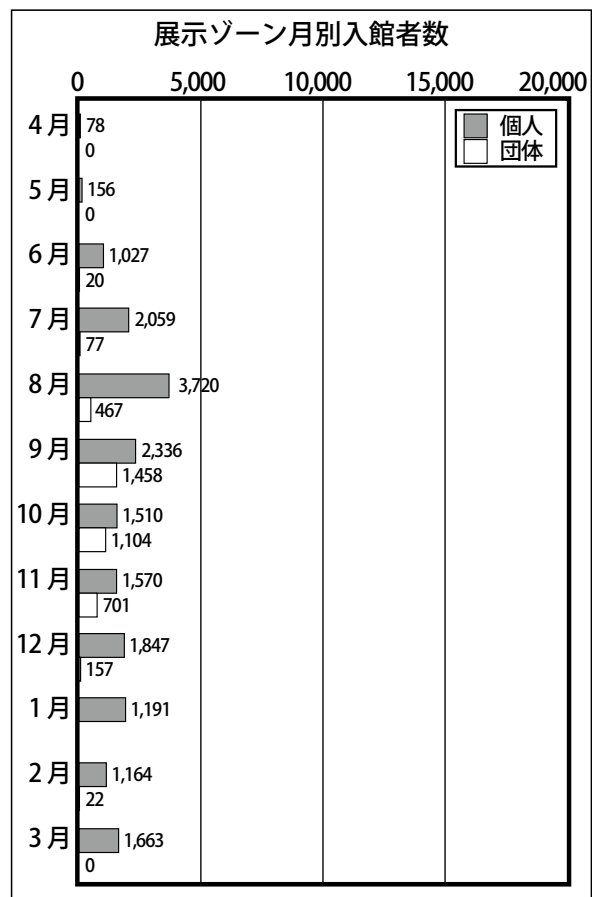
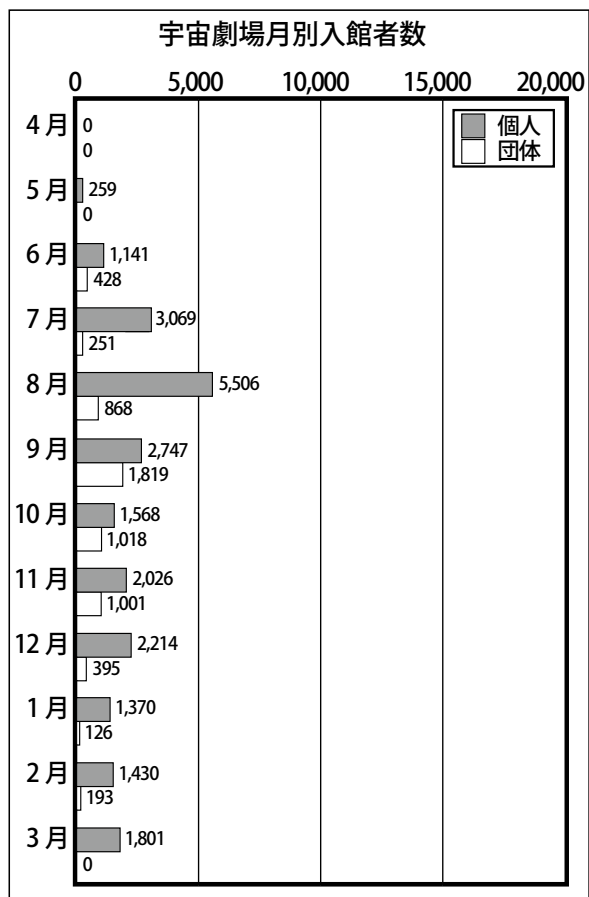
合計

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	11	31	3	0	0	4	47	12	0	0	15	78	5	0	0
5月	8	140	18	0	0	4	275	69	0	0	12	415	35	0	0
6月	17	752	44	448	26	8	1,416	177	0	0	25	2,168	87	448	18
7月	17	838	49	328	19	10	4,290	429	0	0	27	5,128	190	328	12
8月	19	4,614	243	1,221	64	11	4,612	419	114	10	30	9,226	308	1,335	45
9月	17	936	55	3,277	193	10	4,147	415	0	0	27	5,083	188	3,277	121
10月	18	1,062	59	2,044	114	9	2,016	224	78	9	27	3,078	114	2,122	79
11月	14	837	60	1,702	122	11	2,759	251	0	0	25	3,596	144	1,702	68
12月	16	1,241	78	517	32	11	2,820	256	35	3	27	4,061	150	552	20
1月	11	643	58	126	11	12	1,918	160	0	0	23	2,561	111	126	5
2月	12	657	55	215	18	9	1,937	215	0	0	21	2,594	124	215	10
3月	19	1,367	72	0	0	8	2,097	262	0	0	27	3,464	128	0	0
合計	179	13,118	73	9,878	55	107	28,334	265	227	2	286	41,452	145	10,105	35







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	14	31	37	141	15	21	259
6月	84	147	95	633	42	140	1,141
7月	352	584	151	1,590	111	281	3,069
8月	558	1,239	312	2,657	178	562	5,506
9月	231	470	176	1,412	104	354	2,747
10月	159	189	106	799	63	252	1,568
11月	146	262	138	1,134	161	185	2,026
12月	160	291	208	1,181	106	268	2,214
1月	134	188	144	702	57	145	1,370
2月	156	140	95	713	49	277	1,430
3月	183	255	282	835	87	159	1,801
合 計	2,177	3,796	1,744	11,797	973	2,644	23,131

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	259
6月	368	20	4	33	3	428	1,569
7月	231	0	0	19	1	251	3,320
8月	47	700	0	79	42	868	6,374
9月	40	1,604	0	80	95	1,819	4,566
10月	51	895	40	32	0	1,018	2,586
11月	174	769	0	58	0	1,001	3,027
12月	191	122	42	19	21	395	2,609
1月	117	0	0	9	0	126	1,496
2月	110	71	0	12	0	193	1,623
3月	0	0	0	0	0	0	1,801
合 計	1,329	4,181	86	341	162	6,099	29,230

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	9	1	0	0	0	0	10
7月	7	0	0	0	0	0	7
8月	1	10	0	0	0	4	15
9月	1	30	0	0	0	2	33
10月	2	17	1	0	0	1	21
11月	4	18	0	0	0	0	22
12月	4	2	1	0	1	0	8
1月	2	0	0	0	0	0	2
2月	1	2	0	0	0	0	3
3月	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	80	2	0	1	7	121

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	10	7	33	28	78
5月	41	8	62	45	156
6月	123	30	347	527	1,027
7月	496	90	973	500	2,059
8月	1,035	142	1,661	882	3,720
9月	567	103	1,014	652	2,336
10月	287	39	671	513	1,510
11月	286	34	713	537	1,570
12月	375	67	802	603	1,847
1月	201	48	500	442	1,191
2月	166	59	430	509	1,164
3月	414	149	718	382	1,663
合 計	4,001	776	7,924	5,620	18,321

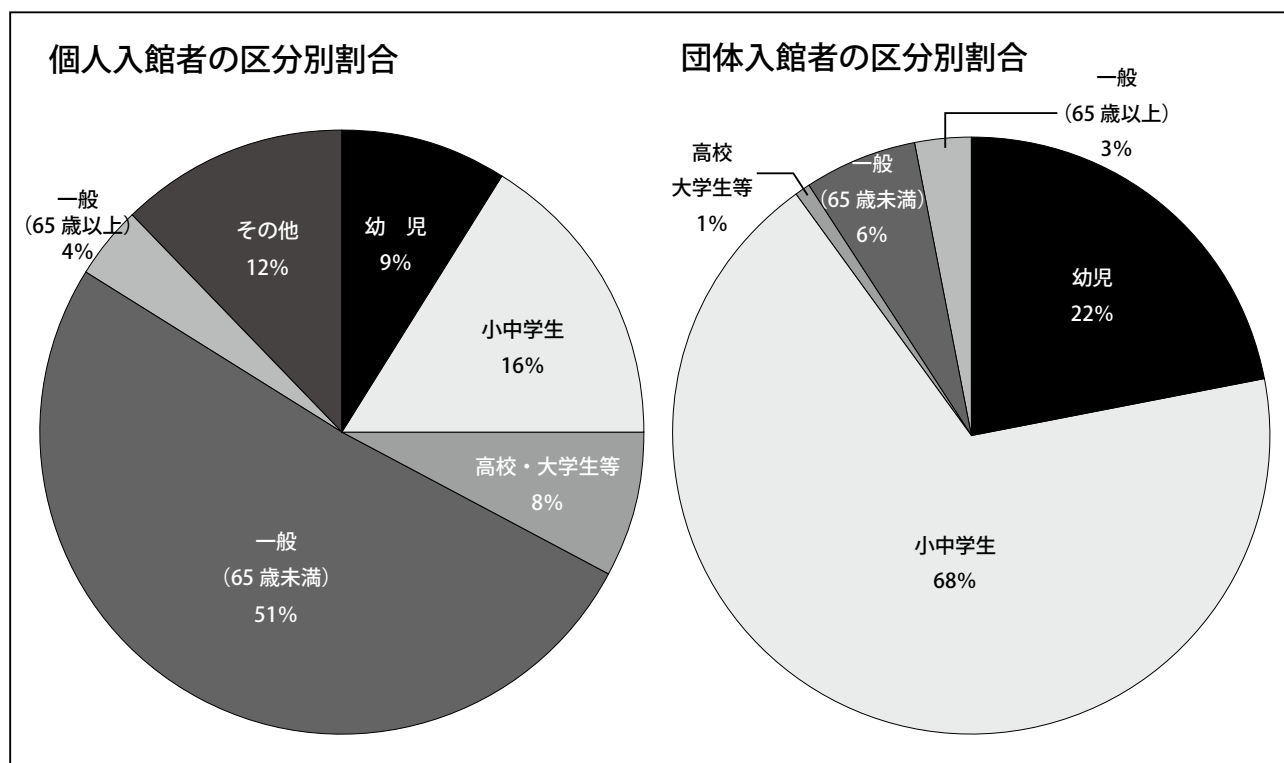
(単位：人)

月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	0	0	0	0	78
5月	0	0	0	0	156
6月	20	0	0	20	1,047
7月	77	0	0	77	2,136
8月	431	0	36	467	4,187
9月	1,404	0	54	1,458	3,794
10月	992	76	36	1,104	2,614
11月	665	0	36	701	2,271
12月	122	35	0	157	2,004
1月	0	0	0	0	1,191
2月	16	0	6	22	1,186
3月	0	0	0	0	1,663
合 計	3,727	111	168	4,006	22,327

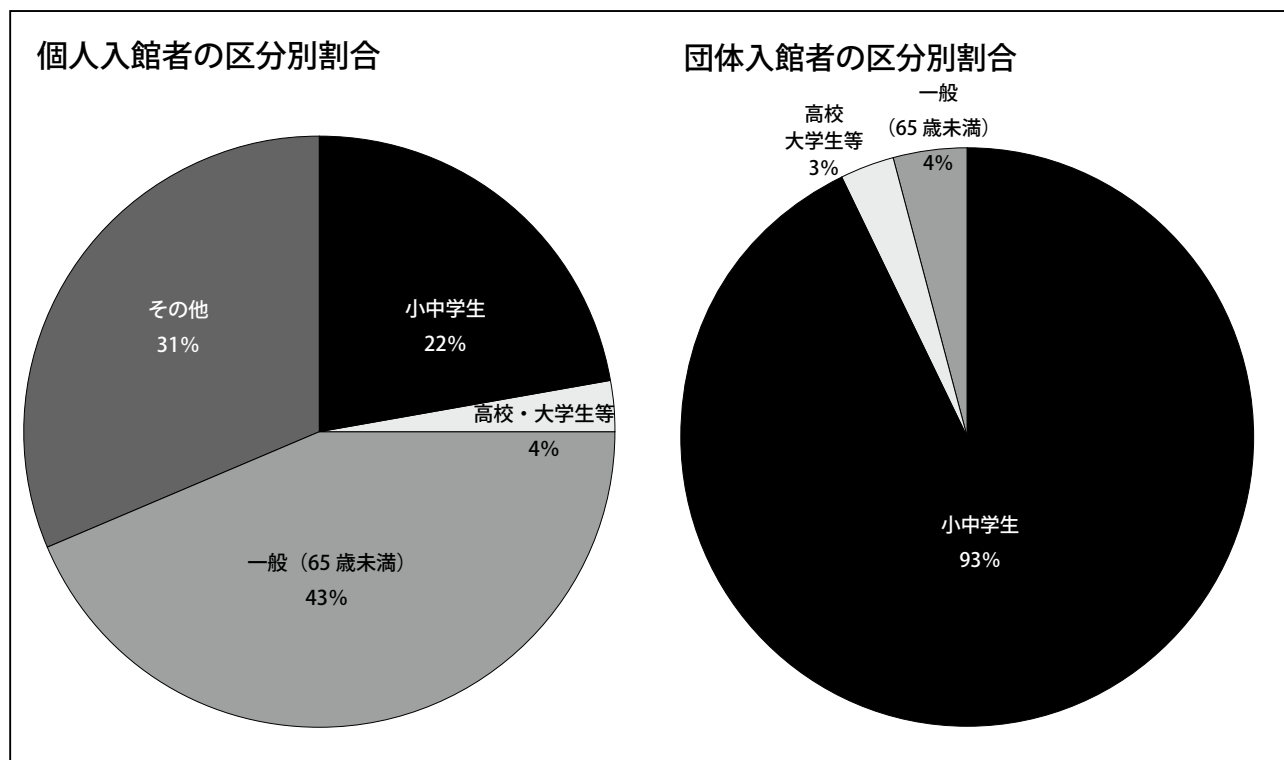
(単位：団体)

月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	1
7月	1	0	0	0	1
8月	5	0	0	3	8
9月	27	0	0	0	27
10月	18	2	0	1	21
11月	17	0	0	0	17
12月	2	1	0	0	3
1月	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
合 計	72	3	0	4	79

宇宙劇場入館者の区分別割合



展示ゾーン入館者の区分別割合



5 平成 27 年度から令和元年度までの入館者数の変遷

平成 27 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 27 年 4 月	12,994	2,419	3,232	5,651
5 月	16,197	3,996	4,526	8,522
6 月	14,429	4,926	4,572	9,498
7 月	21,676	9,750	6,428	16,178
8 月	31,958	12,777	11,165	23,942
9 月	18,172	7,377	4,843	12,220
10 月	15,645	3,818	4,185	8,003
11 月	14,211	4,183	3,289	7,472
12 月	25,995	6,560	8,175	14,735
平成 28 年 1 月	17,516	4,674	6,235	10,909
2 月	11,457	2,961	2,528	5,489
3 月	16,344	3,846	4,183	8,029
合 計	216,594	67,287	63,361	130,648

平成 28 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年 4 月	13,975	3,920	3,680	7,600
5 月	17,862	5,559	5,328	10,887
6 月	15,551	5,953	5,056	11,009
7 月	25,020	12,083	7,359	19,442
8 月	32,803	14,269	9,909	24,178
9 月	17,406	6,520	5,645	12,165
10 月	26,197	5,952	17,728	23,680
11 月	12,985	3,131	2,673	5,804
12 月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年 1 月	19,048	3,791	8,646	12,437
2 月	11,985	3,337	2,330	5,667
3 月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 29 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 29 年4月	14,504	4,308	3,507	7,815
5月	14,761	4,244	4,091	8,335
6月	15,184	6,304	4,852	11,156
7月	30,049	11,361	11,579	22,940
8月	45,749	14,903	19,257	34,160
9月	17,017	6,985	5,426	12,411
10月	15,611	4,931	5,167	10,098
11月	14,139	4,039	2,924	6,963
12月	26,171	6,790	10,198	16,988
平成 30 年1月	16,649	4,138	6,716	10,854
2月	11,803	3,633	2,452	6,085
3月	16,803	4,719	4,364	9,083
合 計	238,440	76,355	80,533	156,888

平成 30 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 30 年4月	12,909	2,917	3,160	6,077
5月	15,064	3,553	4,613	8,166
6月	14,764	5,179	5,170	10,349
7月	20,953	8,558	6,965	15,523
8月	30,503	10,680	10,991	21,671
9月	17,307	6,330	5,197	11,527
10月	15,410	3,991	4,852	8,843
11月	13,275	3,828	2,867	6,695
12月	25,818	5,713	11,573	17,286
平成 31 年1月	16,020	3,604	6,745	10,349
2月	12,435	4,805	2,822	7,627
3月	17,563	5,665	4,963	10,628
合計	212,021	64,823	69,918	134,741

令和元年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 31 年4月	15,298	3,846	4,542	8,388
令和元年5月	14,962	3,738	4,548	8,286
6月	13,290	5,189	4,774	9,963
7月	25,712	8,316	11,233	19,549
8月	38,322	11,404	16,084	27,488
9月	16,831	5,421	5,293	10,714
10月	11,024	3,003	2,820	5,823
11月	11,959	2,703	2,545	5,248
12月	22,076	6,180	8,190	14,370
令和2年1月	14,907	4,448	5,207	9,655
2月	10,587	2,080	2,769	4,849
3月	0	0	870	870
合計	194,968	56,328	68,875	125,203

6 令和2年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○令和2年度：51,557人（前年度：125,203人）

○前年度比：約59%減少（73,646人減少）

☆展望ロビー入館者数

○令和2年度：98,078人（前年度：194,968人）

○前年度比：約50.3%減少（96,890人減少）

☆月別平均入館者数

○4,296人（前年度：10,434人）

○展望ロビー：8,173人（前年度：16,247人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約52.6%

（前年度比：約11.6%減 ※前年度：約64.2%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0%	1%	5%	11%	20.5%	16.2%	10.1%	10.2%	9%	5%	5%	7%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1%	5%	25.3%	35.1%	38.4%	72.5%	89.3%	101%	32.1%	27.8%	57.9%	398.1%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：56,328人）

○令和2年度：29,230人

○前年度比：約48.2%減少

☆展示ゾーン入館者数（前年度：68,875人）

○令和2年度：22,327人

○前年度比：約67.6%減少

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：105,950人）

○令和2年度：41,452人

○前年度比：約60.9%減少

☆団体利用者数（前年度：19,253人）

○令和2年度：10,105人

○前年度比：約47.6%減少

☆来館形態比

○個人：約 80.4%（前年度：約 84.6%）

○団体：約 19.6%（前年度：約 15.4%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約 44.5%（前年度：約 44%）

○土・日・祝：約 55.5%（前年度：約 56%）

（4） 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：29,230 人）

○幼児：3,506 人（約 12%） 内訳＝個人：2,177 人 団体：1,329 人

○小・中学生：7,977 人（約 27.3%） 内訳＝個人：3,796 人 団体：4,181 人

○高校・大学生：1,830 人（約 6.3%） 内訳＝個人：1,744 人 団体：86 人

○一般（65 歳未満）：12,138 人（約 41.5%） 内訳＝個人：11,797 人 団体：341 人

○一般（65 歳以上）：1,135 人（約 3.9%） 内訳＝個人：973 人 団体：162 人

○その他（障がい者 など）：2,644 人（約 9%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：22,327 人）

○小・中学生：7,728 人（約 34.6%） 内訳＝個人：4,001 人 団体：3,727 人

○高校・大学生：887 人（約 4%） 内訳＝個人：776 人 団体：111 人

○一般（65 歳未満）：8,092 人（約 36.2%） 内訳＝個人：7,924 人 団体：168 人

○その他（幼児、障がい者など）：5,620 人（約 25.2%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65 歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65 歳未満）」が最も多く約 39.2%、次いで「小・中学生」約 30.5%と、昨年度と同様に「一般（65 歳未満）」が多い結果となりました。

（5） 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が 51,557 人で約 59%減少、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 10,208,960 円で約 60%の減少、展望ロビーにおける施設利用料金が 467,100 円と前年度と比べ約 45.4%減少しました。

入館者数及び施設利用料金収入が減少したのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宇宙劇場が 5 月 17 日まで、展示ゾーンが 4 月 18 日から 5 月 17 日まで休館となったこと、再開館後、新型コロナウイルス感染症感染防止の一環として、宇宙劇場や各講座等の定員減、展示ゾーンの入場制限、予定していた事業の中止、変更、縮小などの影響により、特に多数の入館者が見込まれる夏休み期間が、前年度の 41,144 人から 28,999 人、冬休み期間が 8,419 人少なかったことなどが大きな要因と

考えられます。

また、展望ロビーの施設利用料金が約 45.4%減少したのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展望ロビーが5月18日まで休館となったため、設置してある鉄道ジオラマ運転装置（200 円を投入しNゲージ鉄道模型の運転操作体験ができる装置）及びビュースコープ（100 円を投入し景色を見る装置）が使用できなかったことが要因となっています。

このような状況の中、新たに令和2年4月からおうちでスペパの配信をスタートしました。YouTube、Instagram を活用し天文解説や実験工作の動画などをご覧いただきました。今後も内容の充実を図りながら、幅広い年代層の市民の皆様方に科学館の魅力を発信していくことが必要であると考えております。

そして、館として感染症防止対策を行い、市民の皆様安全・安心して楽しんでいただける事業の実施、館運営に努めていきたいと考えております。

VIII その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。）第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第 3 条 削除

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分（入館は、午後 5 時）までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日にあたるときは、その翌日とする。）
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第 17 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

（事業報告書の提出）

第 18 条 法第 244 条の 2 第 7 項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後 60 日（同条第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して 60 日）以内にしなければならない。

（利用料金）

第 19 条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納入しなければならない。この場合において、第 7 条の規定は適用しない。

2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。

4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第 8 条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例（平成 11 年郡山市条例第 24 号）の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第 9 条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

5 指定管理者は、第 3 項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第 9 条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

6 指定管理者は、第 3 項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

（指定等の公告）

第 20 条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

(1) 第 16 条第 1 項の規定により指定管理者を指定したとき。

(2) 前条第 3 項の規定により利用料金の額を承認したとき。

(3) 法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

(4) 前 3 号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

（開館時間等の変更）

第 21 条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第 5 条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第 6 条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

（事業計画書等の内容の変更等）

第 22 条 指定管理者は、第 14 条第 1 項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

（郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置）

- 6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則（平成29年郡山市条例第47号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

* 別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日
郡山市規則第 26 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲

- (3) 指定管理者の指定の期間
 - (4) 利用料金に関する事項
 - (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
 - (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
 - (7) 次条第 1 項に規定する申請書等に関する事項
 - (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
 - (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
 - (10) その他市長が必要と認める事項
- 2 条例第 13 条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和 40 年郡山市条例第 2 号）第 2 条第 2 項の掲示場に掲示することにより行うものとする。
- （申請書等）
- 第 7 条 条例第 14 条第 1 項の規定による申請は、指定申請書（第 4 号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。
- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書
 - (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
 - (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
 - (4) 法人にあっては、登記事項証明書
 - (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
 - (6) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
 - (7) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
 - (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
 - (9) その他市長が必要と認める書類
- 2 条例第 14 条第 2 項第 4 号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
 - ア 破産者で復権を得ないもの
 - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前 30 日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第 13 条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して 2 年を経過しないもの
 - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において 2 年を経過しないもの
 - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員
 - (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの 2 分の

1 以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。) でないこと。

(3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第 8 条 条例第 15 条第 2 項の規定による通知は、選定結果通知書（第 5 号様式）によるものとする。

(指定通知)

第 9 条 条例第 16 条第 1 項の規定により指定をするときは、指定通知書（第 6 号様式）により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第 10 条 条例第 17 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第 11 条 条例第 22 条第 1 項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

(委任)

第 12 条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成 27 年郡山市教育委員会規則第 1 号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成 13 年郡山市教育委員会規則第 12 号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成 30 年郡山市規則第 26 号）

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年郡山市規則第 48 号）
この規則は、公布の日から施行する。

2 利用案内

< 普通観覧料 >

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円
※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料 ※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF		

< 定期観覧料（ワンイヤーパスポート） >

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が 1 年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

< 宇宙劇場番組開始時間 >

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ（祝日を除く）	
※番組開始時刻は変更になる場合があります。		

< 開館時間 >

常設展示 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

宇宙劇場 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

※金曜日は 10 : 00 ～ 19 : 45（入場は 19 : 00 まで）

< 休館日 >

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28 ～ 1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

< 展望ロビー >

10 : 00 ～ 20 : 00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
 - (2) 本会及び科学館主催事業の支援
 - (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
 - (4) その他必要な活動
- 2 活動は科学館と協議の上、実施する。
- 3 活動項目は、随時拡充していくものとする。
- 4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内グループ
- (2) 科学グループ
- (3) 天文グループ

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

- 2 会員に会長名で登録証を発行する。
- 3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。

3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

(1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。

(2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。

(3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

(1) 総務部会

(2) 企画部会

(3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

(1) 退会届の提出をした場合

(2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合

(3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合

(4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合

(5) 政治活動や宗教活動を行った場合

(6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合

(7) 営利を目的とした行為を行った場合

(8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第 12 条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

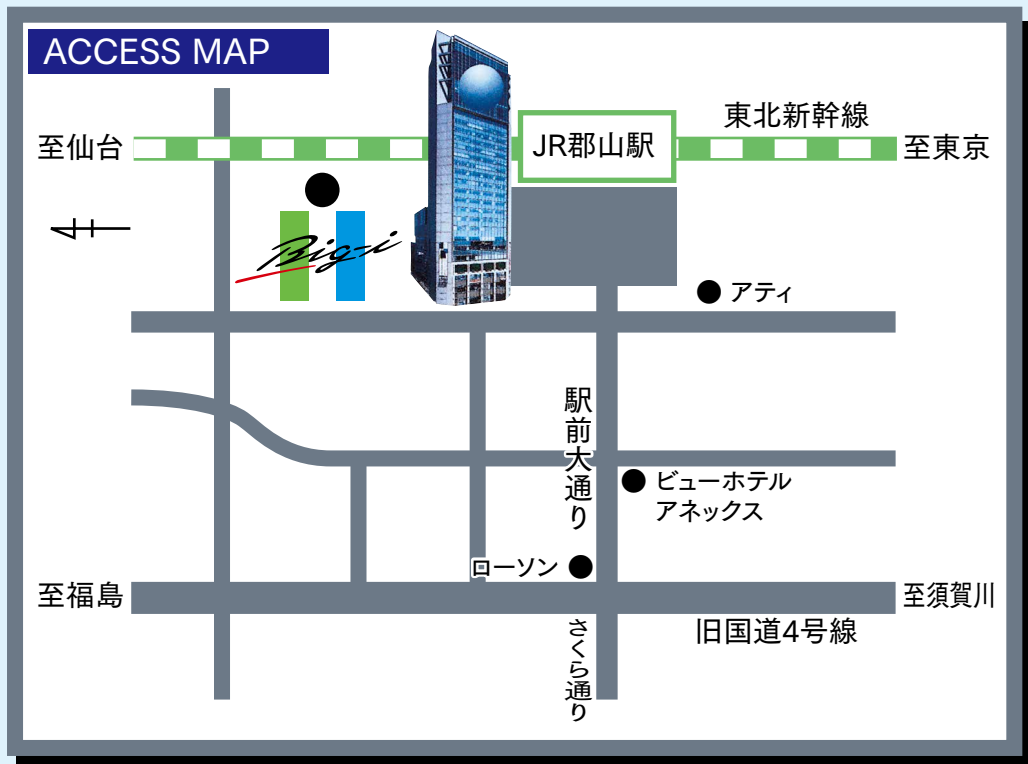
この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

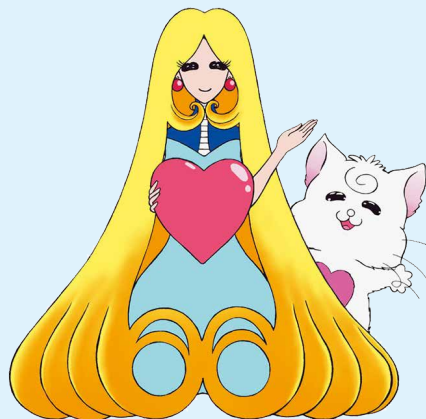
メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

スペースパーク

検索

Facebook・Instagram・YouTube配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市